

1 家庭学習ガイドブックとは？

授業と家庭学習で確かな学力を身に付けさせましょう！！

小・中学校では子供たちの学力の向上をめざして、授業の改善・充実に取り組んでいます。学校で学んだことをしっかりと身に付けるために、家庭学習は欠かせません。

「まくらざき家庭教育手帳 家庭学習ガイドブック」は、家庭学習の道標となるように作成しました。毎日少しずつでも家庭学習をすることが、生涯にわたって自ら学び、豊かで幸せな未来をひらくことにもつながります。

家庭学習が習慣化して自主的に取り組むことができるよう、ご家庭におかれましては、以下の点をご理解いただき、「まくらざき家庭教育手帳 家庭学習ガイドブック」を活用していただければ幸いです。

(1) 家庭学習の道標

「自主学習ってどんなことをすればいいの？」と迷ったことはありませんか。この手帳は、教科ごとに、自主学習のヒントを紹介しています。基礎編はその教科を苦手としている人、発展編はその教科を得意としている人に向けた内容になっています。これらを参考に学習に取り組ませてみましょう。そして、時々、学習方法が自分に合っているか先生に見てもらうなどして、子供たちに合った自主学習ができるようにしてください。

(2) 家庭での学習習慣の定着

子供たちは放課後、そして帰宅後もいろいろな活動を行っていて、なかなか忙しい生活を送っています。その中で、毎日決められた時間に家庭学習を行うことは大変ですが、家庭学習を習慣化することはとても重要なことです。家庭学習の継続こそ、現在と将来の学力の基礎を固め、発展させていくために大いに役立つものです。

枕崎市では、「家庭学習 40・60・90・120 運動」(※)に取り組んでいます。各学年の家庭学習時間を参考に、子供たちに合ったやり方を見つけて、励ましてあげてください。

(3) 自主的な家庭学習

小・中学校では、学校から宿題が出されたり、自主学習のノートの提出が求められたりすることが当たり前ですが、高校では、自分に必要な学習を自ら探して取り組むことが求められます。高校生になったときに予習・授業・復習のサイクルで自ら学習に取り組むことができるように、自主的な学習を習慣化しておく必要があります。「今、必要な学習は何か」「どのように学習するとよいか」を考え、実行する力を身に付けてほしいものです。

与えられた宿題に取り組むことから始めて、徐々に自主的な学習を増やしていきましょう。9年間かけて、子供たちが自主的に学習に取り組む力を身に付けられるよう、学校と家庭の両サイドから支援していきましょう。

※ 1日の家庭での学習時間のめやす「家庭学習 40・60・90・120 運動」

● 1・2年生 → 40分以上

● 3・4年生 → 60分以上

● 5・6年生 → 90分以上

● 中学生 → 120分以上



2 家庭学習の前に・・・

☆ 自分で必ずできるようになりましょう！！

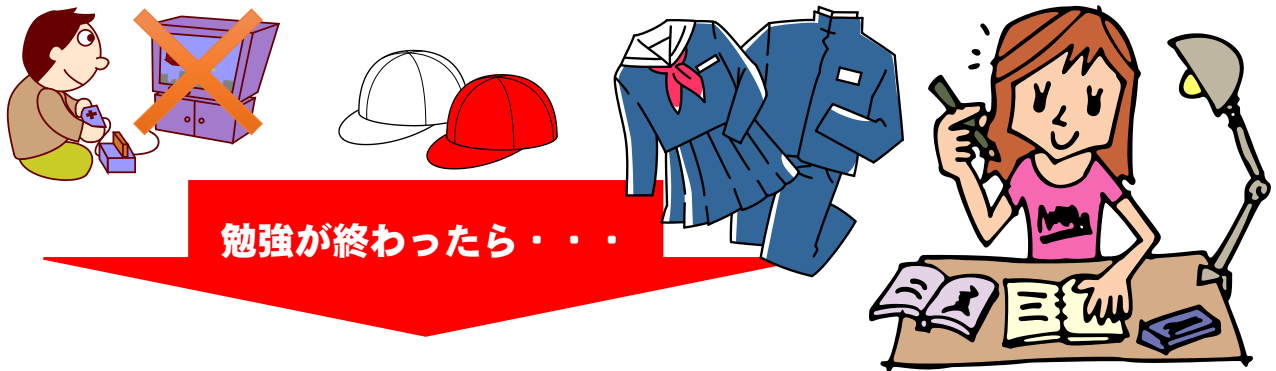
Check!
☝

<帰ったら、すぐにやっつけてしまおう！>

- 制服や帽子は、片付けましたか？
- 連絡帳や生活ノートを見ましよう！
- プリントやお便りは出しましたか？
- さあ、勉強を始めましよう！
 - ・ テレビやゲーム、スマホは消しましたか？
誘惑に負けないようにしましよう！！
 - ・ 姿勢はいいですか？
 - ・ 鉛筆の持ち方は正しいですか？

【保護者の皆様へ】

- 学習で大切なことは、集中することです。
- 「時計の針が〇までに」「タイマーで〇分」など、徐々に学習時間を長くできるようにしていきましょう。
- 生活のリズムをつくり、家庭学習の習慣を付けましよう。



勉強が終わったら・・・

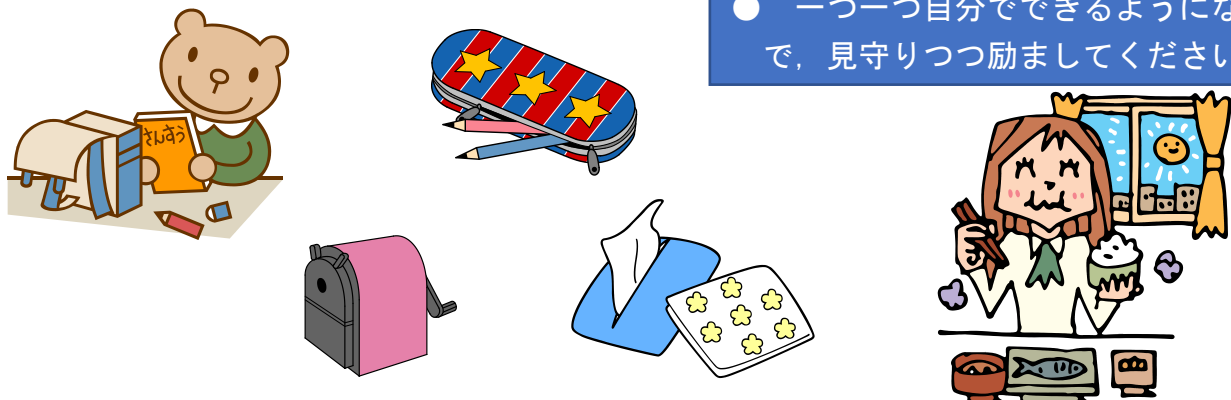
<明日の準備！忘れ物がないように！！>

- 時間割は調べましたか？
- 準備する物は入れましたか？
- 鉛筆は削りましたか？
- 筆箱の中身はそろっていますか？
- ハンカチやティッシュを入れましたか？

【保護者の皆様へ】

- 「整理整頓」「次の学習準備」は、学習の基本です。ランドセル・制服・教科書・ハンカチ・連絡帳などの置き場所を決めておきましよう。
- 一つ一つ自分でできるようになるまで、見守りつつ励ましてください。

Check!
☝



<早寝・早起き・しっかり朝食！規則正しい生活を送りましよう！！>

3 家庭学習以外にも取り組んでほしいことがあります！

<家の中で・・・>

- できることは自分でやりましょう。
 - ・ 靴並べ，食器運び，風呂掃除，上履き洗い…，いろいろあります。
 - ・ できることを増やしましょう。そして，続けましょう。
- 本を読みましょう。
 - ・ 「1日20分読書」に取り組みましょう。
 - ・ どんな本が好きですか。いっぱい読んでお気に入りの本を見つけましょう。
 - ・ 毎月23日は「親子読書の日」です。家族で読書に取り組みましょう。



【保護者の皆様へ】

- 「ありがとう」「助かったよ」等，感謝の気持ちを伝えることで，やさしい気持ちと意欲が芽生えます。
- 手伝いを続けることで，責任感や忍耐力が養われます。家の仕事は，自立への第一歩です。

【保護者の皆様へ】

- 読書をすると言葉が増え，「表現力」や「想像力」が豊かになります。
- 本が好きになるように，身近なところに本を置いたり，読み聞かせや親子読書などに取り組んだりしましょう。
- 大人が読書をする姿を見せることは大切です。



ゲームやスマホをしすぎていませんか？

ゲームやスマホ等には，心の発達・脳の発達，知的能力・視力・体力などの良くない影響が指摘されています。

機器を使用する時間や場所を，親子で話し合っ決めて，守りましょう。

市校外生活指導連絡会共通理解事項及び市PTA連絡協議会重点事項
「インターネット環境機器の使用は午後9時までとする」を守りましょう。



<地域の中で・・・>

- 人と遊びましょう。
- 行事に参加しましょう。
祭り，伝統行事，清掃活動…
- 友だちと昔の遊びに挑戦しましょう。
かくれんぼ，けん玉，竹とんぼ…など



<自然の中で・・・>

- 花や野菜を育てましょう。
- 生き物を育てましょう。
- 草花で遊びましょう。
- 星や月を見てみましょう。
- 自然の中で遊びましょう。



【保護者の皆様へ】

- 機械とばかり遊ぶより，人と遊びましょう。
- 人とつながり，体を動かして遊ぶことは，体力だけでなく，協調性や忍耐力，そして思いやりの心を育て，生きる力を身に付けさせてくれます。
- 親子で地域の行事に参加して，大人も子供も，「顔」でつながり，「声」でつながり，「心」でつながりましょう。

【保護者の皆様へ】

- バーチャルなものではなく，本物に触れさせましょう。五感が発達します。
- 自然の中には，子供の胸がときめく発見がいっぱいあります。また，自然の恵みや厳しさも学べます。「生きる知恵」を育む体験をたくさんさせましょう。



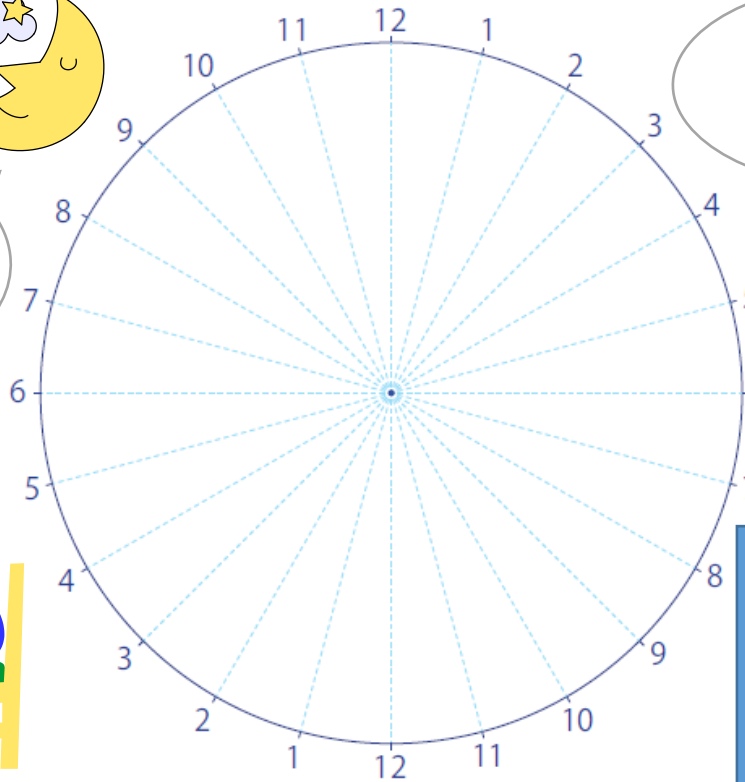
か
書いてみよう①！！

にち
1日のタイムスケジュール

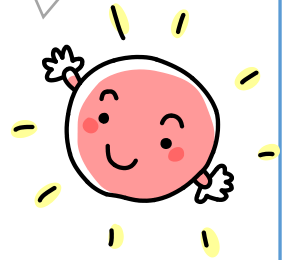
いつも



ときどき
か
書き直して
みよう！



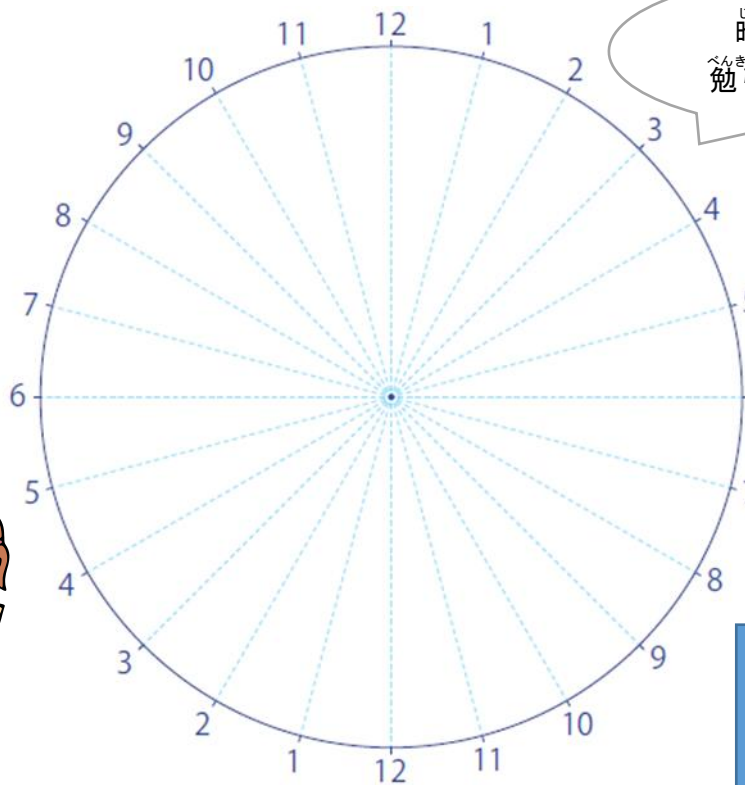
ちゃんとまもられているかな？ときどきか
か
返ってみよう！



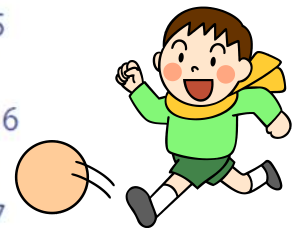
べんきょうじかん もくひょう
勉強時間の目標

<input type="text"/>	じかん 時間
<input type="text"/>	ふん 分

やす
休み



じかんをきめて、いえで
べんきょう
勉強しているかな？



べんきょうじかん もくひょう
勉強時間の目標

<input type="text"/>	じかん 時間
<input type="text"/>	ふん 分

しょうがくせい ちゅうがくせい 小学生・中学生のみなさんへ



1 家で学習の流れ

ステップ1…まず、学校から出された宿題をしよう。

ステップ2…次に、自主学習（復習や学習ノート作りなどを）しよう。

※ 「まくらざき家庭教育手帳」の6ページから33ページを参考にしよう。

ステップ3…最後に、次の日の学習の準備をしよう。

2 学習する時間のめやす

しょうがっこう 1～2年	…	40分	しょうがっこう 3～4年	…	60分
しょうがっこう 5～6年	…	90分	ちゅうがっこう 1～3年	…	120分

3 気を付けること

- 部屋の中や机の中などを整理し、学習しやすい雰囲気をつくりましょう。
- 家では、必ず学習の時間を確保しましょう。（毎日の積み重ねが大切です。）
- 毎日続けて（めやすの時間以上）学習しましょう。
- テレビを見ながらなど、「ながら」学習をせずに、集中して学習に取り組みましょう。（スマホやゲーム機は、学習の前に片付けましょう。）
- 「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけ、規則正しい生活を送りましょう。

4 「まくらざき家庭教育手帳」の自主学習での活用の仕方

- 各教科の進め方の内容は、「基礎編」と「発展編」に分けています。
- 苦手な教科は「基礎編」を、得意な教科は「発展編」を参考にしてください。

こくご

ことば 言葉をふやして、めざせ国語名人！！

小学校1～3年生編

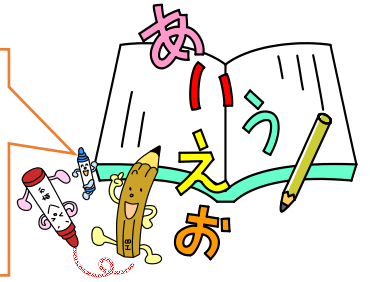
きそへん
基礎編



- 音読…今、勉強しているところを読もう。
- 文字…習った「ひらがな」「カタカナ」「漢字」をノートに書こう。
- 視写…今、勉強しているところを書き写そう。
- 読書…いろいろな本を読もう。(苦手な人は、絵本から読んでみよう。)

はってんへん
発展編

- 暗唱…今、勉強しているところを覚えよう。
- 文字…習った文字を使って短い文を作ろう。
- 読書…物語やいろいろな種類の本を読もう。



★こんな勉強をしてみよう★

まいにちすこ 毎日少しずつでも、続けることが大切です。

【ノートの例】 【文字の練習】

木	ア	み	ち	く	い	も
木	ア	み	ち	く	い	じ
木	ア	み	ち	く	い	の
						れ
山	イ	む	て	け	う	ん
山	イ	む	て	け	う	し
山	イ	む	て	け	う	ゅ
						う

《ポイント》

いまなら
今習っている「ひらが
な」「カタカナ」「漢字」
の練習をしてみよう。

※ きれいに書けているか、お
家の人にも見てもらおう。

《ポイント》

「とめ」「はね」「はらい」「おれ」「まがり」に気を付
けて、きれいに書こう。

《ポイント》

例えば、「夏」をイメージする言葉を、習った「ひらが
な」「カタカナ」「漢字」を使って書こう。

あ	夏	く	く	こ
つ	の	イ	つ	の
い	こ	ズ	つ	ば
	と		く	あ
す	ば	ク	る	こ
い		リ	ま	と
か		ス	ば	
			マ	く
			ス	リ
夏	休			
み				
アイ				
スク				
リ				
ーム				

※ 考えながら、きれいに書こう。

※ 字全体の上下左右のバランスを

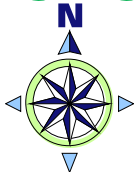
しゃかい

- 基礎編で、「よく分かる!」
 - 発展編で、「好きになる!」
- しゃかいがどんどん「楽しくなる!」

小学校1～3年生編

しゃかいかはかせ
めざせ、社会科博士!!

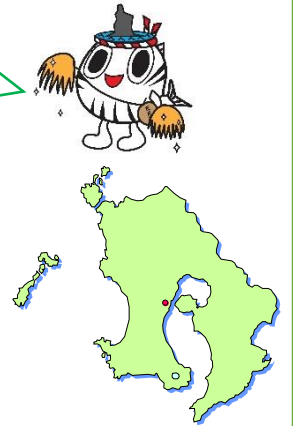
基礎編



[ノートの例]

★覚えよう [大事な言葉]

- ① 教科書や副読本を声に出して読もう。[3回以上]
- ② 地図記号カードを作ってみよう。
- ③ 自分で問題を作ってみよう。



★ポイント★ 3年生…地図記号, 八方位

地図	田	畑	茶畑	かじゅ園
たて物	市役所	神社	消防署	交番
やしせつ	郵便局	小中学校	高等学校	病院

八方位の学習
()の中に方位を書こう。

※ 八方位は、しっかり覚えよう。

方位じ石で方位を調べよう。

- ・家から見た学校の方位 → (南東)
- ・家から見た市役所の方位 → (北西)

※ 方位じ石(方位じしん)

※ この他にも、まだたくさんの地図記号があるよ。教科書や地図帳を使って調べてみよう。

[地図記号カードを作ってみよう]

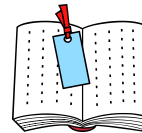
- ① 単語カードを用意します。
- ② 覚えたい地図記号を、カードの表に書きます。裏にはその答えを書きます。
- ③ これを繰り返して、たくさんのカードを作しましょう。

- 方位磁石(方位磁針)を使って、自分の家から見た枕崎市内の施設の方位を調べてみよう。

(例) 家から見た【 】の方位



できるだけ、たくさん覚えましょう。



① 学校で学習したことを、もう一度

ノートに書いてみよう。

学校でノートに書いたことを、もう一度きれいに書いてみましょう。

一度では覚えられないことも、覚えやすくなります。

[ノートの例]



② 地図をかいてみよう。

家の周りや学校の周りなどを地図記号を使って地図にしてみましょう。

○ 自分たちが住んでいる枕崎市内の様子を

地図記号で表してみよう。

③ 「大事な言葉」を使って、クイズ

学校で学習した中で、「これは大事だな」と思う言葉が答えになるようなクイズを作ってみましょう。

作ったら、お家の人や友だちにクイズを出してみよう。

【クイズの例】

わたしの家から見て南東の方角に【 】が

あります。【 】の中には、何が入りますか。

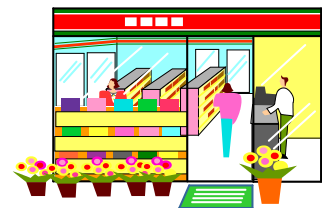


④ おうちの人と一緒に枕崎市を探検しよう。

「工場がたくさんあるところ」「お店がたくさん

あるところ」など、学校で学習したところに、お家の人と一緒にいってみよう。

校区の中や枕崎市の中には、たくさんすてきな場所があります。魅力を探して、ノートにまとめてみよう。



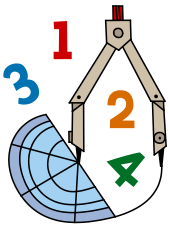
自分の校区や枕崎市の魅力が詰まったノートを作ってみましょう。

さんすう

小学校1～3年生編

- 1 繰り返し練習しましょう。
- 2 絵や図をかいて、考えましょう。
- 3 身の回りの算数を見つけてみましょう。 **めざそう算数名人!**

きそへん 基礎編



- ① 間違えた問題をもう一度解こう。
- ② 授業で自信のなかった問題をもう一度解こう。
- ③ 計算のしかたを書こう。 ○ 計算ドリルの問題ををくり返し解こう。
- ④ 用語（算数の言葉）を覚えよう。 ○ 九九を声に出して読もう。
- ⑤ 三角定規・コンパスを使って図形や模様をかこう。
 - 二等辺三角形・正三角形・円・模様



《ポイント1》学習したところを書こう。

〔ノートの例〕

けいさんドリル10 (25ページ)

□ () の中にすうじをかこう。

① 99より1大きいかず (100)

② 60より1小さいかず (59)

③ 2 - 4 - (6) - 8 - (10)

④ (60) - 70 - (80) - 90 - 100

⑤ 16 - (18) - 20 - (22) - 24

40ページ くれんしゅう)

□ ひっ算をしよう。

① $16 + 35 = 51$ ② $24 + 49 = 73$

16	24
+ 35	+ 49
-----	-----
51	73

③ $72 - 25 = 47$ ④ $91 - 43 = 48$

72	91
- 25	- 43
-----	-----
47	48

《ポイント2》

教科書や計算ドリルのページ数を書き、問題も番号までしっかり書こう。

《ポイント3》

計算問題は、必ず筆算まで書こう。くり上がりやくり下がりがあある場合は、それらの計算のあとも残しておこう。

《ポイント4》

解き終わったら、自分で答え合わせとやり直しをして先生にノートを出しよう。

・形をまとめよう。

① 長方形... 角がみんな直角になっている四角形。

② 正方形... 角がみんな直角で、辺の長さがみんな同じ四角形。

③ 二等辺三角形... 2つの辺の長さが等しい四角形。

④ 正三角形... 3つの辺の長さがみんな等しい三角形。

長方形

正方形

二等辺三角形

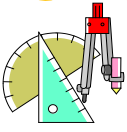
正三角形



《ポイント》

学習した図形について、図と言葉でまとめよう。長さも考えてかくと、図形をかく練習にもなるね。

はってんへん
発展編



- ① 授業で習ったことを使って問題を作ろう。② 教科書の練習問題をしよう。
 - ③ 身の回りから算数を見つけて調べよう。
- ・ いろいろな物や場所の長さを予想して測ろう。 ・ かかった時間を計ろう。など

《ポイント》課題やめあてをきちんと書こう。



[ノートの例]

・ 長さをはかろう。 ※ ほんのたん位でも表そう。

① 消しゴムの長さ
(5 cm) ※ (50 mm)

② えんぴつの長さ
(13 cm 7 mm) ※ (137 mm)

③ ノートのたての長さ
(29 cm 5 mm) ※ (295 mm)

④ ベルトの長さ
(1 m 10 cm) ※ (110 cm)

・ つぎのめんだいをとこう。
おり紙を1人12まいもっていま
す。4人がみんな同じまい数もっ
ているとすると、4人合わせて何
まいになるでしょうか。

(式) $12 \times 4 = 48$

ひっ算	
12	
× 4	

48	

(答) 48まい

《ポイント》

cmだけではなく、mmの単位
までしっかり測ろう。

《ポイント》

単位を変えた長さも書くよ
うにしよう。

※ 単位換算ができるように
なろう。

《ポイント》

たし算・ひき算・かけ算・
わり算を使った文章問題を
考えよう。

① 自分の身の回りに、算数
の問題になりそうなもの
がないか探してみよう。

② たし算・ひき算・かけ算
・わり算のどれを使うか
考えよう。

③ 立式をして、筆算までし
っかり書こう。

※ ふだんから、身の回りに
算数の題材になるものが
ないか探してみよう。

【算数の文章問題】

- ① 文章題を書く。
- ② 式を立てる。(立式)
- ③ 計算をする。(筆算も、消さずに必ず残しておく。)
- ④ 答えを書く。【例】(答え)(答)(A) → 線を引く。
(例) ○まい, ○回, ○cm, ○m → 単位を忘れない。

自分で、家庭学習のメニューを増やしていこう。

りか

理科博士になって、 科学者をめざそう！

小学校1～3年生編

- 理科が楽しくなり、理科に強くなるひけつを覚えよう。

きそへん 基礎編

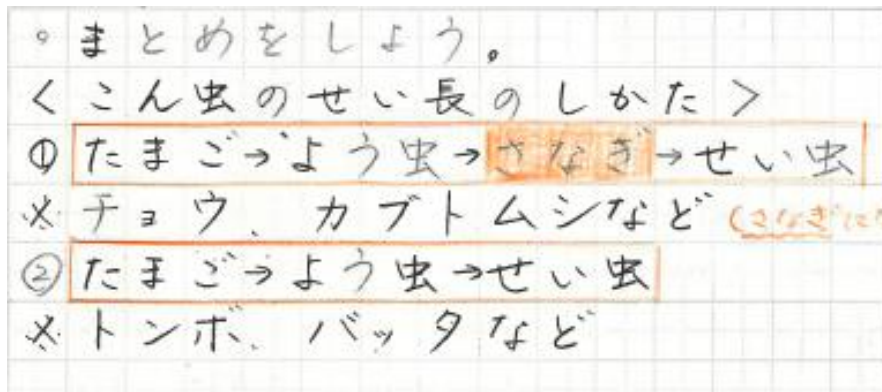
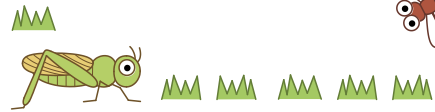


- ① 勉強したところの教科書を読もう。
 - ② 教科書の「まとめ」を自主学習ノートに写そう。
 - ③ 教科書にのっている昆虫や植物を家でも探してみよう。
 - ④ 授業で学んだことを利用して、おもちゃを作ってみよう。
- ゴム ・ 風 ・ 磁石 ・ 電気 など



〔ノートの例〕

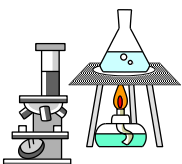
★教科書のまとめを写そう★



《ポイント》

- ① 「大切な言葉は赤で書く。」
- ② 「大事な部分は赤で囲む。」
- ③ 「覚えておきたいところは線を引く。」

- ① いろいろな昆虫や植物を家でも育てて、つくりや育ち方を観察してみよう。
 - ② 家で観察した昆虫や植物の観察記録を付けて整理しよう。
 - ③ 家にある材料や道具を使って実験してみよう。
 - ④ 分かったことや不思議に思ったことは、そのままノートに書いておこう。
 - ⑤ 授業で学んだことを組み合わせて楽しいおもちゃ作りをしよう。
- ゴム ・ 風 ・ 磁石 ・ 電気 など
- ⑥ 作ったおもちゃの「作り方」や「設計図」を自主学習ノートに書いてみよう。



わかったことや考えたことをノートに書いておこう。



[ノート(ノートの例)]

安全(あんぜん)に気(き)を付けて、いろいろ
チャレンジ(チャレンジ)してみよう。

・電気を通す物に○，通さない物
に×をつけよう。また，磁石につ
く物に○，つかない物に×をつけ
よう。

	電 気	磁 石
1円玉	○	×
10円玉	○	×
鉄のくぎ	○	○
ビー玉	×	×
えんぴつのしん	○	×

くまとめ
・金ぞくと黒鉛は電気を通したが，
ガラスは電気を通さなかった。
・金ぞくの中にも，磁石につか
ない物がある。

《ポイント》

理科(りか)の教科書(きょうかしょ)を参考(さんこう)にして，他(ほか)
にもどんな実験(じっけん)ができるのか考えてみ
よう。

《ポイント》

実験(じっけん)の結果(けっか)は，図(ず)や表(ひょう)など
にわかりやすくまとめよう。

《ポイント》

まとめ(まとめ)は赤(あか)で書(か)いたり，大事(だいじ)
な部分(ぶぶん)を赤(あか)で囲(かこ)んだりしよう。

《ポイント》学習(がくしゅう)ノートの見本(みほん)の他(ほか)にも，家(いえ)にあるいろいろな物(もの)を調(しら)べてみよう。

(実験(じっけん)の続き(つづ)の例(れい))

- ・ アルミホイル → 電気(でんき)を通(とお)すか？ 磁石(じしゃく)に付(つ)くか？
- ・ 50円玉(えんだま) → 電気(でんき)を通(とお)すか？ 磁石(じしゃく)に付(つ)くか？

(その他(ほか)の実験(じっけん)や観(かん)察(さつ)の例(れい))

- ・ 形(かたち)が変(か)わると物(もの)の重(おも)さは変(か)わるの(の)だ(だ)らう(らう)か。
- ・ 自(じ)分の家(いえ)の近(ちか)くに在(あ)る昆(こん)虫(ちゅう)を調(しら)べよう。

○ 自(じ)分の言(こと)ばで分(わ)かりやす
く結(けっ)果(か)をま(ま)とめて(めて)み(み)よう。

《注 意》

- かん(か)んだり，さし(さ)たりする虫(むし)には十(じゅう)分(ぶん)気(き)を付(つ)けよう。
- 観(かん)察(さつ)が終(お)わったら，昆(こん)虫(ちゅう)はにがし(し)てあ(あ)げよう。
- 海(うみ)や川(かわ)などあ(あ)ぶないところ(ところ)へは行(い)かないよう(よう)にしよう。
- むやみ(むやみ)に昆(こん)虫(ちゅう)や植(しょく)物(ぶつ)をとら(と)ないよう(よう)にしよう。



【家庭学習の充実に向けて①】

1 家庭学習で「学ぶ力」を育てましょう！

小・中学校での学習は、子供たちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし…だと、これからはどうなるのだろう」「なぜ…なのだろう」などと、自分の中に生じた疑問を基にしながら、これまで学んできた知識を生かし、見通しをもって考える力のことです。この力は、学校の授業の中はもちろんのこと、家庭学習においても同時に育てていかなければならないものになります。そのようなことから、本市では「家庭学習40・60・90・120運動」の積極的推進を図っています。

これからの人生では、困難なことがあっても決してくじけず、何事にも積極的にチャレンジしようとする人材の育成が望まれています。毎日の家庭学習の習慣を身に付けさせることで、子供の主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに生きる力につなげていき、延いては子供たち自身の将来への大きな財産となるようにしていくことが今強く求められています。

枕崎市の子供たちの家庭学習が、今後さらに充実していくために、この冊子が積極的に活用されることを願っています。

※ 家庭教育手帳を活用する場として → 家庭教育学級・全校PTA・学級PTA

※ 枕崎市ホームページにも、家庭教育手帳のデータをアップしています。

2 家庭を「学び」の環境に！

進んで学ぼうとする力は、子供が一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねていくことで身に付いていきます。また、子供は、家族に認められ励まされることを通して、「がんばってよかった」という充足感や「見守られている」という安心感を得ることができます。子供たちが日々努力することを通して自分に自信をもつことができるように、学校と家庭がお互いに協力し合い、子供の「学ぶ力」を育てていく必要があります。

- * 家庭（保護者）と学校（教師）が、家庭学習の習慣化を目指して互いに協力し合うことで、子供のやる気を促し、「学ぶ力」を育みます。
- * 子供の家庭学習が充実するように、学びの環境を整え、家族の温かいふれあいを増やしていきましょう。

（そのために）「家庭や学校が心がけること」

- ☆ 生活リズムを整え、決まった場所と時間で、学習に集中できる環境を整える。（家庭）
- ☆ がんばりを認め、励ましと家族間の対話のある温かいふれあいの場をつくる。（家庭）
- ☆ 基礎学力を付け、学び方を教え、主体性を育てる学習指導の推進を図る。（学校）
- ☆ 子供のよさを生かした家庭学習の提案を図る。（学校）

こくご
国語

ことば
言葉をふやして、

こくごめいじん
めざせ国語名人！！

小学校4～6年生編

きそへん
基礎編

- 音読…今、勉強しているところを読もう。
- 文字…習った漢字や熟語をノートに書こう。
- 視写…教科書の文や詩、お話などをノートに書き写そう。
- 読書…いろいろな種類の本を読もう。



★こんなノートの書き方ができたらいいね★

◎ 漢字の練習 学校の宿題と違うテーマで練習してみよう。

◎ 視写

以 人⑤	暗 日③	案 木④	安 へ④	庄 土⑤	悪 心③	愛 心④	あ	愛 心④	アイ
イ	い	アン	アソ	アツ	わるい	わろい	アイ	アイ	読み方
育 肉③	域 土⑥	遺 土⑥	意 心③	移 イ⑤	異 田⑥	胃 肉⑥	委 女③	医 心③	困 心⑤
イ	イキ	イ	イ	うつす	こと	イ	い	イ	くらい
そだつ									い

チェックらん
学年
漢字
部首・画数
読み方

六年間に習う漢字

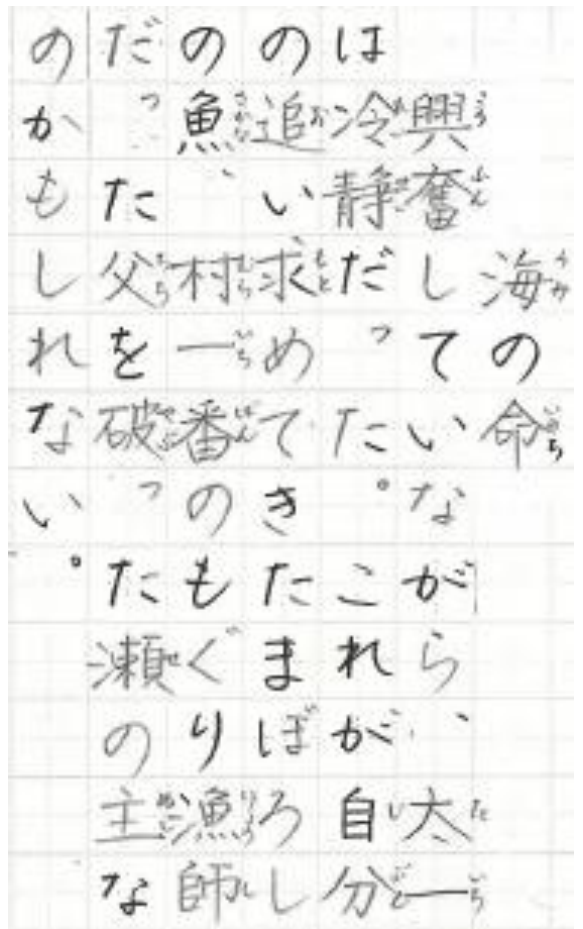


教科書や新聞、今読んでいる本を
視写してみよう。

困	位	衣	以	イ	六
困	位	衣	以	年	
困	位	衣	以	間	
困	位	衣	以	に	
：	：	：	：	習	
周	位	衣	以	う	
困	置	喰	来	漢	
・	・	住	字		
包	一	・	以	7	
困	位	衣	上	い	
		服		レ	

る漢字などの練習をしてもいいね。

小学校六年間に習う漢字、新聞に載っていた漢字、本に載っている漢字、



まいにち すこ つづ だいじ
毎日、少しずつでも続けることが大事です。



- 暗唱…短歌、俳句、ことわざなどを覚えよう。
- 文字…習った漢字の意味を調べ、熟語を使って短文を作ろう。
- 日記・作文…自分でテーマを決めて書こう。(ニュースや身の回りの事柄)
- 読書…読み終わったら、感想を書いたり話したりしよう。



★こんなノートの書き方ができたらいいね★

◎日記・作文

新聞やニュース、身の回りの事柄について、意見のテーマや記事の要約、意見を分けて書こう。(新聞記事を切り抜いて貼ってもいいね。)

◎意味調べ

言葉の意味調べをして、短文作りをしよう。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

日本人宇宙飛行士、国際宇宙ステーションへ

テーマ…赤で線を引くと見やすくなります。

○年○月○日

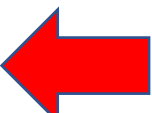
日本人が、国際宇宙ステーションの船長になると聞いて、うれしかった。いつか、だれもが宇宙を旅行できるようになるといいと思った。



ニュースや身の回りの事柄について、自分の意見を書こう。

言葉の意味調べ

功績	有益	伝承	
<u>大意</u>	<u>大意</u>	<u>大意</u>	
偉大な功績を残す。	有益な情報を集める。	地域の伝承を調べる。	
成果			



◎言葉の意味調べ

◎短文

マークを自分で決めましょう。

読んでいる本や教科書の巻末、国語以外の教科書の教科書などに載っている言葉について、意味調べをしてみよう。

自分で、家庭学習のメニューを増やしていけるといいですね。

- 基礎編で、「よく分かる!」
- 発展編で、「どんどん好きになる!」「楽しくなる!」

しゃかいをかかせ
めざせ、社会科博士!!

きそへん
基礎編

★ 覚えよう [大事な言葉]

- ① 教科書や副読本を声に出して読もう。[3回以上]
- ② 大事な言葉に線を引こう、大事な図を線で囲もう。
- ③ 大事な言葉や大事な図をノートに書き写そう。



★ポイント★

4年生…鹿児島県の市町村の名前とその位置, 110番・119番の連絡,

ごみを減らす工夫など

5年生…都道府県名とその位置, 6大陸3大洋, 日本を中心とした主要国

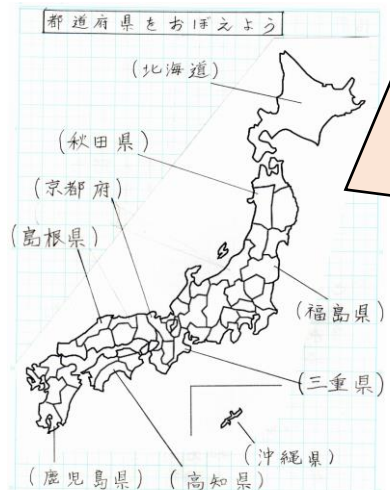
6年生…教科書に出てくる歴史人物42名の名前, 働き, 時代名 など

[ノートの例]

○ 県内の市町村名を覚えよう。		
① 鹿児島市	垂水市	
鹿屋市	薩摩川内市	
枕崎市	日置市	
阿久根市	曾於市	
出水市	霧島市	
指宿市	いちき串木野市	
西之表市	南さつま市	
志布志市	南九州市	
奄美市	伊佐市	
	始良市	
② さつま町	瀬戸内町	③ 三島村
長島町	龍郷町	十島村
湧水町	喜界町	大和村
大崎町	徳之島町	宇検村
東串良町	天城町	
錦江町	伊仙町	県内
南大隅町	和泊町	19市
肝付町	知名町	20町
中種子町	与論町	4村
南種子町		計43市町村
屋久島町		

整理してまとめ、声に出して読みながら覚えましょう。

「新しく学習したこと」や「大事な言葉」をノートに



簡単な地図やグラフを書き写すのもいいですね。



大事だと思える言葉には、簡単な説明を自分で書き加えましょう。テスト前は、ここをもう一度確認しましょう。



できるだけ、たくさん

覚えましょう。

日本国憲法の三つの原則		
「国民主権」	「平和主義」	「基本的人権の尊重」
○ 意味 日本の(政治)をどう進めるかという方針を決めるのは(国民)である。	○ 意味 戦争をせず世界の平和のために努力していくという原則。	○ 意味 人が生まれながらに持っている(平等)に生きる権利を大切にすること。
(例) 国の政治を行う国会議員は、(国民)の(選挙)によって決められる。	(例) 世界でただ一つのひばく国として、(平和)への願いを世界に発信している。	(例) 国民には(教育)を受ける権利がある。



○ 授業で学んだことを、もう一度自分なりに整理してノートにまとめよう。

★ポイント★

4年生…**火事が起きたら** [イラスト], 110番・119番連絡図 (詳しくまとめたもの),
鹿児島県地図 [地勢図, 土地利用図など], 等高線と縮尺

5年生…**日本地図** [地勢図, 分布図など], 国土の広がり, 地形の特色,
気候の特色 [雨温図], 米の生産量・消費量 [グラフ],

漁業別生産量 [グラフ], 工業地域, 輸出入の割合変化 [グラフ]

6年生…各時代の様子 [イラスト], 歴史人物と年表 など

すす
進んでやってみよう [カード・新聞記事・体験]

① カードを使って、まとめよう。

小さなリングカードを利用して、表
には大切な言葉や問題を書き、裏には
説明を書いて、いつでも確かめられる
ようにしよう。テスト勉強にも使おう。

② 新聞記事を集めよう。

授業に関係する記事や自分が気にな
っている記事を切り抜いてノートに貼り、
自分の意見や考えを書こう。

③ 家の人といっしょに体験してみよう。

機会があれば、学習したことと関係
のある場所に行ったり、そこでいろい
ろな体験をしたりしてみよう。



[ノートの例]

○ 食料自給率とは
消費された食料のうち、国内で
つくられたものの割合。

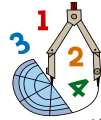
<品目別の食料自給率>

米	98%
野菜	73%
魚や貝	61%
大豆	21%
肉	15%
小麦	12%

☆ 日本の食料自給率の問題点

- 日本の食料自給率は約37%と低い。
- 1965年には73%あった食料自給率は少しずつ下がっている。
- 特に、大豆や小麦は自給率が低く、ほとんどを輸入にたよっている。

さん算 すう数



小学校4～6年生編



算数が得意になるために、

- 1 復習は「意味の振り返り」と「反復」「継続」がカギです。
- 2 絵や図やグラフをかいて、ポイントを書き入れよう。一緒にまとめることで学習した内容の理解が深まります。
- 3 生活の中にも算数がいっぱいあります。学習したことを生活の中で活用してみましょう。

きそへん基礎編

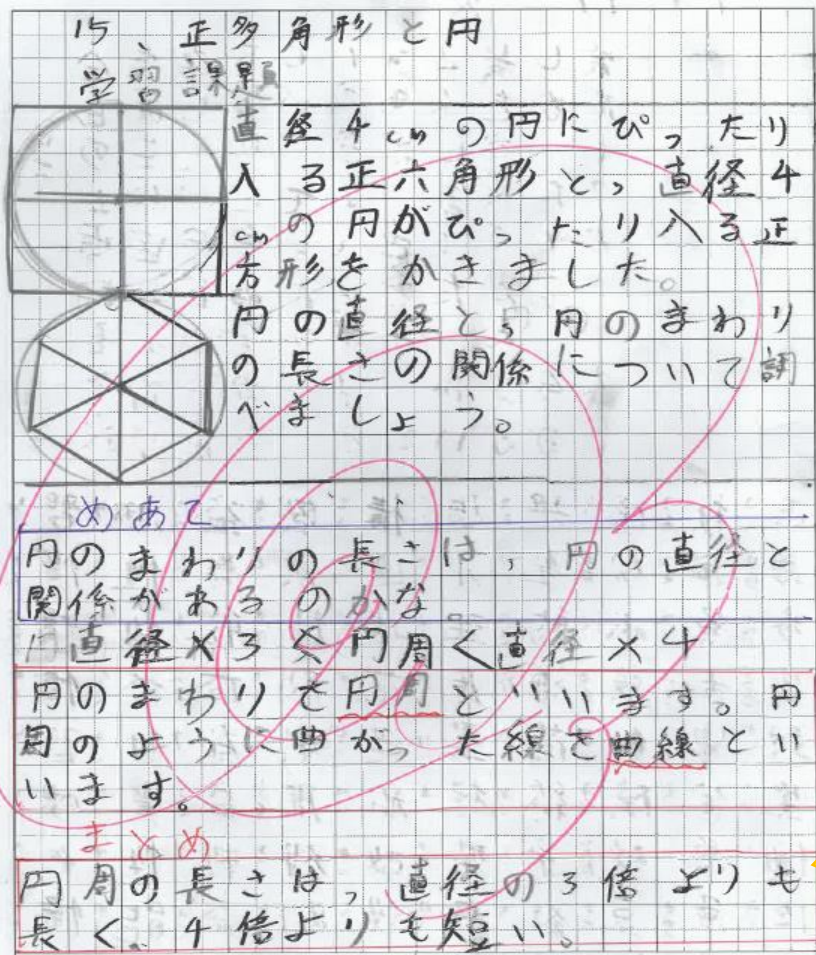


- ① 間違えた問題をもう一度解こう。
- ② 授業で自信のなかった問題をもう一度解こう。
- ③ 時間を決めて計算ドリルの問題を解こう。
- ④ 公式をまとめよう。
- ⑤ 用語（算数の言葉）の意味をまとめよう。
- ⑥ 三角定規・コンパスを使って図形をかこう。
 - 垂線・平行線・平行四辺形
 - 長方形・正方形・ひし形・台形

できなかった理由や同じ間違いをしないためのポイントも、まとめておくといいね。

目標タイムを決めて取り組むと、集中力が高まります。答え合わせとやり直しまでやっておこう。

〔ノートの例〕



《ポイント1》

課題やめあてをきちんと書こう。

《ポイント2》

実際に図（多角形や円）をかき、言葉も書き入れよう。

《ポイント3》

読む人を意識して、分かりやすく書くようにすると、筋道立てて考える力が付きます。

「まず」「次に」「最後に」など、順序を表す言葉を使ってまとめてみよう。



- ① 授業で習ったことを使って問題を作ろう。
- ② 教科書の練習問題を解いてみよう。
- ③ 身の回りから算数を見つけて調べよう。
 - ・ 買い物で概数を使って表そう。
 - ・ 買い物で割合を使って損得を比べよう。
 - ・ ドライブで時間・速さ・道のり（距離）の関係を調べよう。（㊦：道のり・㊧：時間・㊨：時間）



何km?

「㊦㊧㊨」の関係を線分図や表にしてみよう。中学校でも、よく出てくる内容だよ。

《ポイント》 課題・めあてをきちんと書こう。

《ポイント》

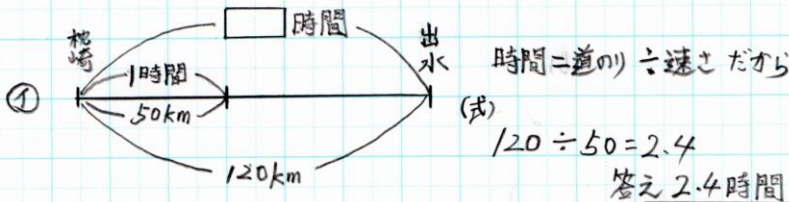
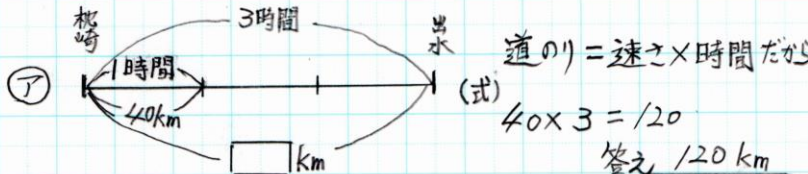
問題文を書いたら、大事なところに線を引こう。

時速と時間の問題をつくろう

(問題)

枕崎市から出水市まで、時速40kmの自動車に進むと3時間かかります。 ㊦

時速50kmでは、何時間かかりますか。 ㊧



	速さ (は)	時間 (じ)	道のり (み)
㊦	40	× 3	= 120
㊧	50	× 2.4	= 120

《ポイント》

㊦と㊧に分けて、問題を書いたところを線で表そう。

《ポイント》

線分図の上側に時間、下側に距離を書き入れよう。

《ポイント》

時速は1時間に進む距離だから、1時間当たりの距離も書き入れよう。
(単位量当たりの大きさを意識する。)

《ポイント》

表に整理すると、「㊦㊧㊨」の関係がさらにわかるよ。

自分で、家庭学習のメニューを増やしていけるといいですね。

人工衛星「はやぶさ2」を地球まで帰した
人たちは、ノーベル賞をとった人も、みんな
理科が大好きでした。

きそへん
基礎編

- ① 教科書に出てくる太字の大切な用語を覚えよう。
- ② 観察や実験のしかた、器具や薬品の名前、注意することなどを覚えよう。
- ③ 教科書の大切な図などを、自主学習ノートに写し、説明も付け加えておこう。
- ④ 教科書の「まとめ」を自主学習ノートに視写しよう。
- ⑤ 理科のノートを見直し、書き足りないところは書き加え、書き方の悪いところは書き直してきちんと整理しよう。
- ⑥ 実物を見たり、生活の中で使われている物を探したりしよう。



電磁石についてまとめよう。

・鉄くぎにエナメル線を巻きつけたものをコイルという。
・コイルに電気を流すと磁石になる。これを電磁石という。

○電磁石の鉄を引きつける力を強くする方法を2つ書きましょう。

- ① かん電池の数を増やし、コイルに流す電流を強くする。
- ② コイルにエナメル線を巻きつける回数を増やす。

※電磁石の性質が使われている物

- ・洗たく機
- ・ファンヒーター
- ・電子レンジ
- ・電気自動車
- ・リニアモーターカー

教科書のまとめを視写

《ポイント》

教科書の「まとめ」をノートに書いてみよう。

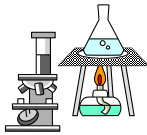


ノートの整理

《ポイント》

実験の様子や結果、大切なことを、自分の言葉でまとめよう。

身の回りにはいろいろな物について調べてみよう。



- ① 教科書に出てくる大切な用語の意味を自分の言葉で書いてみよう。
- ② 教科書の「たしかめよう」や「学びをつなごう」をもう一度解いてみよう。
- ③ 授業で学習したことを、家庭でも確かめよう。(星や月・天気の変化・花や実など)
- ④ 理科の内容に関わる本や雑誌を読んでみよう。
- ⑤ 授業で疑問に思ったことを、図鑑やインターネットを利用して調べよう。
- ⑥ 学習したことがどこで生かされているか見つけよう。



たしかめよう

【わかったかな・できたかな】

思い出す ① 16ページ ② 17, 20, 25ページ ③ 20ページ
④ 25ページ ⑤ 207ページ ⑥ 206ページ

- 物の燃え方と空気の变化について、まとめましょう。
- (1) 集気びんの中のろうそくが、最も長く燃え続けるのは、①～⑥のうちのどれですか。また、それを選んだ理由を説明しましょう。

- ① 集気びんの上と下を閉じる。 ② 集気びんの下をあげる。 ③ 集気びんの上と下をあける。



- (2) 空気は、いろいろな気体が混じり合って、できています。
- ① 右のグラフの()の中に、当てはまる気体の名前をかき入れましょう。
- ② ①の気体のうち、物を燃やすはたらきがあるものは、どれですか。
- ③ ①の気体のうち、物が燃えとてきるものは、どれですか。
- (3) 右の写真の集気びんの中には、何という気体が集められていると考えられますか。
- (4) ③の気体は、ろうそくが燃えた後、どうなっていますか。
- ろうそくが燃える前と燃えた後の空気を調べる実験の方法について、ふり返って、まとめましょう。
- (1) 石灰水を使うと、ある気体があるかどうか調べることができます。
- ① その気体は、何ですか。
- ② その気体によって、石灰水は、どうなりますか。



「物が燃え続けるには」

・ 酸素、酸素、二酸化炭素の性質

・ 酸素には、物を燃やすはたらきがある。

・ 酸素や二酸化炭素には、物を燃やすはたらきはない。

・ 物が燃える前と燃えた後の空気

・ 物が燃えると、空気中の酸素の一部が使われて、二酸化炭素ができる。

<考察しよう>

物が燃え続けるには、どのようなことが必要だろうか。

物が燃え続けるには、常に空気が入れかわる必要がある。



酸素が必要

理科の教科書の【たしかめよう】
※ 単元ごとに、学習の振り返りができる問題が載っています。自主学習をする時に、とても役に立ちます。

自分の言葉でまとめる

教科書に出てくる大切な用語の意味をノートに整理すると理解も深まります。

<家で実験や観察をする時の注意>

- 火を使うことなど危険がともなうものについては、家の人と一緒にしよう。
- 海や川など危ないところへ行くのはやめよう。
- 夜、星や月の観察を行うときは、家の人と一緒にしよう。



【家庭学習の充実に向けて②】

3 家庭学習って何？

家庭学習では、宿題だけでなく自主学習もします。

- ◎ 宿題 → 学校から出される必ずしなければならない課題です。主に「読む」「書き」「計算」などの基礎学力を身に付けることを目指します。
- ◎ 自主学習 → 自分で課題を見つけ、それを基にして自分自身で進めていく学習です。自分自身で物事を追求することを通して、思考力や表現力など、未来の社会人として必要な力が身に付くことを目指します。

〈家庭学習で取り組む自主学習の進め方の例〉

- 国語 → 漢字や言葉の意味調べ・視写・日記・音読
- 算数・数学 → 計算練習・公式を覚える・問題作り
- 社会・理科・総合 → 用語など授業で学習したことをまとめる
- 家庭・体育・図工 → 学習したことを家庭でも実際に試す
- 英語 → アルファベット・単語・基本文型を声に出しながら書いて覚える
音読・基本文型を使った作文や会話文作り

- ※ その他
- 市販のドリルや問題集の問題を解く。 ● テストのやり直しをする。 → 【全ての教科】
 - 一人一台のタブレット端末を活用して、AIドリル等に取り組む。(ICT機器の活用)
 - テレビの教育番組や英語番組などを視聴する。etc.

4 家庭学習で身に付く力って？

基礎学力が確実に身に付くだけでなく、自分で学習する時間をつくり出そうとする態度が「考える力」や「表現する力」、そして、見えない学力（「意欲」「自分をコントロールする力」「生活リズムを整える力」「自己決定力」「集中力」「課題発見力」「課題解決力」「豊かな自尊感情」）となって、自分自身を高めていきます。これらの力は、毎日こつこつと努力する繰り返しの中で自然に身に付いていきます。そして、この力は社会人となったときに力強く生きていくために必要な力にもなっていきます。

5 家庭学習の内容の確認を！

この家庭教育手帳に、発達段階に応じた家庭学習の参考例を載せています。それを基に意欲的に学習を進めていくことが大切です。また、子供が学習に取り組んだ内容については、必ず家庭でも目を通していただくとありがたいです。子供たちは、家族や教師のアドバイスを励みにして、次の学習にも意欲的に取り組むようになります。

～ 家庭学習の内容の確認のポイント ～

- ① 丁寧な字で書き、文章などの誤字や脱字はないか。計算などのまちがいはないか。
- ② 学習した内容が、復習や予習などの中身のあるものになっているか。
- ③ 学習した内容が、自分のものになっているか。（学習したことを質問してみる。）

こくご
国語

きょうかしよ かつよう まな ささ
教科書をフル活用し、学びを支える

ことば ちから み っ
「言葉の力」を身に付けよう！

中学生編

- ・ 基礎編では「言葉」の充実をめざします。
- ・ 発展編では「読解力+表現力」の充実をめざします。



きそへん
基礎編

きょうかしよかだん きやくちゆう ごく せいり
教科書下段「脚注」の語句をノートに整理しよう。

- ① 辞書を使って意味を調べよう。
- ② 似た意味の語句（類義語）を書こう。
- ③ 短文を作ろう。
- ④ 反対の意味の語句（対義語）を書こう。

《ポイント》

〔ノート例〕 「脚注」には、学びたい語句が示されています。どんどん辞書を活用しましょう。辞書にマーカーや付箋を付けていくのも効果的です。

動詞	尊敬語	謙譲語
行く・来る	いらっしゃる	参る・伺う
いる	おられる	ある
言う・話す	おっしゃる	申す・申上げる
見る	ご覧になる	拝見する
食べる	召し上がる	いただく
する	なさる	いたします
くれる	くださる	いただきます
開く	開かされる	開かす
知る・思いつく	知らる	存じ

《ポイント》

「用例」は重要です。テストには、「用例」で出題されることがあります。

- ① 新出漢字一覧 [教科書巻末] の漢字をノートに整理しよう。
 - ※ 画数に気を付けながら、筆順やとめ・はね・はらいを確認し、大きな字で書こう。
 - ※ 訓読みで漢字の大体の意味が分かるので、一字一字の訓読みに注目しよう。
 - 同音異義語・同訓異字 ○ 形が似ている漢字（読み方に注意）
 - 「熟字訓」（特別な読み方をする熟語） ○ 漢字の意味…熟語の意味を 考える手がかりにしよう。
- ② 教科書を繰り返し音読しよう。

おんどく まいにちつづ
音読を毎日続けることで、国語の力が付いていきます。

- 語句に関する学習は〈基礎編〉を参考に取組もう。
- 各教材の末尾にある課題をノートにやってみよう。

☆ポイント☆

【予習】

「学びの道標」の課題について自分の考えをまとめよう。

【復習】

- ① 「学びを広げる」「学びを振り返る」の課題について自分の考えをまとめよう。
- ② 「学びを広げる」の問題に取り組み、先生に見てもらいましょう。
- ③ 教科書巻末の「資料編」を読んで、学習したことをノートにまとめてみよう。



[ノート例]

<p>1 (現在)「客(=回想の中の僕)」がちょうどにまつわる思い出を語り始める。</p> <p>2 「僕」はちょうど集めに夢中</p> <p>3 隣の家のエメールに自慢のコムラサキを見せたが、雞癩をつけられ喜びを傷つけられた</p> <p>4 ある日、ワジクヤママユをエメールが持っていることを知り、見に行く。</p> <p>5 「僕」は欲望を押し入れられず、ワジクヤママユを盗んでほう。</p> <p>6 このちょうを持って行ってはならないと悟り、返しに行くがちょうはつぶれてしまっていた。</p> <p>7 エメールにあやまりに行くが軽蔑される。</p> <p>8 夜、「僕」は大切にしていた収集品を一つ一つ粉々に押しつぶす。</p>	<p>微妙 物語の流れに沿った「客」の心情の変化</p> <p>けがす 熱情 燃え上がるような激しい感情。熱心な気持ち。</p> <p>よみがえる 1 死んだもの、死にかけたものが生きかえる。衰える。</p> <p>色あせる 1 色がさめる。色がうすくなる。2 美しさやみずみずしさなどがなくなる。</p> <p>2 一度衰退したものが再び盛んになる。</p> <p>2 恥すべき行いなどをして名誉・誇りを傷つける。</p>	<p>少年の日の思い出 (漢字)</p> <p>二月二十三日 (火)</p> <p>高橋健二 訳</p> <p>書齋 腰掛 不透明 閉ざ 妙 刺す 蓋 不愉快 微笑</p> <p>恥すがい 甲高い 遊戯 塔 忍び寄る 網 待ち伏せ 斑点</p> <p>緊張 瓶 柱 自慢 傷む 稜 妬む 憎む 欠陥 押絵</p> <p>攻撃 呈す 羨ましい 優雅 犯す 悟る 繕う 一切 罰</p>
--	--	---

○ 後半では、教科書の課題を読んで自分なりにまとめてみよう。

○ ノートの前半には、「基礎編」で解説している「言葉」の力を付ける課題に取り組もう。

しゃかい
社 会

- 基礎編では「重要語句」を身に付けましょう。
- 発展編では「重要語句」同士のつながりまで理解できるようにしましょう。



基礎編と発展編で、社会科を得意教科にすることをめざしましょう。



きそへん
基礎編

1 学習の進め方

- 教科書の太字で表した「重要語句」や学習した「用語」を覚えよう。
- 「重要語句」や「用語」の意味や内容をまとめよう。

[ノート例]



2 ノート作りの手順

- 「重要語句」や授業で学習した「用語」をノートに書き写そう。
- 「重要語句」や「用語」の意味や説明が書かれている部分を教科書から探し、線を引こう。
- ②で線を引いた部分をノートに「できるだけ短い文」で書き写そう。



まずは、教科書を書き写すことから始めよう。慣れてきたら、自分の言葉で少しずつ短い文章に工夫してまとめるようにすると、さらに学習の理解が深まります。

ノートができたなら、覚えるまで何度でも読み直そう。



1 学習の進め方

- 教科書の太字で表した「重要語句」や学習した「用語」を関連付けて理解しよう。
- 興味をもったことを、資料集やインターネットなどで進んで調べてみよう。

2 ノートづくりの手順

- 「重要語句」や授業で学習した「用語」を「表」や「図」にまとめよう。
- 資料集やインターネットなどで調べたことも書き加えると、さらに詳しい内容のノートになります。
- ノートに書いたことを、もう一度きれいに書き直してみよう。一度では覚えられないことも覚えやすくなります。

れきし
歴史ノートの例

れきしがくしゅう
【歴史学習のポイント】

- アジアなど「世界とのつながり」を年表に表してみよう。
- 日本の歴史を「政治」「経済・文化」に分けてまとめてみよう。
- 同じ頃の「鹿児島県の歴史」も書いてみよう。

。紀元前7〜6世紀ごろ、朝鮮半島から、人口が新たな地を求められ、九州に上陸してきた。この人たろを、渡来人という。渡来人は、水田での稲作の技術を教えた。

※渡来人は、中国、朝鮮から日本にやってきた人々。漢字や仏教、稲作を日本に伝えた。

※稲作は、紀元前4世紀ごろ、おもに朝鮮半島から九州北部に稲作が伝えられた。また、縄文時代の米は、高床倉庫に保管された。

※高床倉庫とは、稲作をたくわえるための、弥生時代の倉。しっけやねすかなどの害を防ぐため、床を高くし、ほしごで出入りした。

。このころの工器は、貯蔵・調理・食器などの使いみちに応じた新しい種類のもの。弥生工器という。

※弥生工器とは、弥生時代につくられた工器。明治時代、東京の東京区弥生で、はじめて発見したことから、この名がつけられた。

ちり
地理のノート例

成田国際空港を10月25日の午後2時に出発した航空機が、東経15度の経線を経緯時を基準とするとき都市(a)の空港に現地時刻で10月25日の午後6時に到着した。このときの飛行時間は何時間か。

12時間 東経と西経をあわせて360°ある。そして24時間大陸がまわるから、24時間かかるから、360÷24=15なので15度で1時間の時差がある。日本の経度は135°で、都市(a)の経度は15度、135-15=120度あるから、120÷15=8、なので日本から(b)地点まで、時差は8時間。日本の方が朝からくるから、午後2時から8時を引くと午前6時。午後6時と午前6時の時間は12、なので飛行時間は12時間かかる。

(イギリス)、Eレから離脱

1月31日、イギリスがEレTヨーロッパ連合から離脱した。この結果、Eレの加盟国数は、(27)か国になった。

アメリカでは、小麦地帯やとうもろこし地帯など、地域の気候や土壌などの自然環境に対応した(適地適作)の農業が行われている。

a. 領土 b. 領海 c. 排他的経済水域

図中でXに示した、排他的経済水域の外側の海域を何というか、漢字で空を書き添えよ。

d. 公海 日本は、領海を海岸線から何海里までと定めていますか? 12海里

【まとめのポイント】

- 「重要語句」や「用語」を地図上で表してみよう。
- 「イラスト」や「表」「グラフ」などを加えると、分かりやすいノートになります。

数学

数学が得意になるために、

- 基礎編では、「授業の内容」を確実に身に付けます。
- 発展編では、「数学的な考え方」が育ちます。

中学生編

「基礎編と発展編」で、あなたの「数学の世界」が今よりも広がります。



基礎編

【学習の進め方】

- 今日の授業を振り返ろう。
- 授業の例題を自分の力で解こう。
- 自分の力を確かめるために、よく似た問題に挑戦しよう。

【ノートの例】

○ 速さに関する文章問題を、連立方程式を活用して解く。
道のり = 速さ × 時間、速さ = 道のり / 時間、時間 = 道のり / 速さ

19 図形の合同 ① 合同な図形... 平面上の2つの図形について、一方をずらしたり、裏返したりすることによって他方とが、下り重なることができるとき、この2つの図形は合同であり、記号≡を用いて△ABC ≡ △DEFのように表す。

② 合同な図形の性質... 対応する線分の長さは等しく、対応する角の大きさは等しい。③ 三角形の合同条件... 2つの三角形で、次の条件のうち、どれかが成り立てれば、その2つの三角形は合同である。

④ ① 3つの辺がそれぞれ等しい。 ② 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい。 ③ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい。

《ポイント1》

教科書や自分の授業ノートを開いて、確認してみよう。

《ポイント2》

今日の学習のめあてを書こう。

《ポイント3》

自主学習ノートを使って、授業で学習した例題を振り返ろう。

《ポイント4》

教科書や問題集にある類題に取り組もう。



正負の数・ラストの解き直し～

① -2.5より大きく、3.5より小さい数のうち、整数は $\star P32$ 1に何を条件にあてはめるものをとまり、にして考えるとき、それを条件としよう。

② $24 = 2^3 \times 3$, $40 = 2^3 \times 5$ と表せる。この2つの最小公倍数はいくつか。 $\star P35$

2)	24	40
3)	12	20
4)	6	10
5)	3	5

③ $-\frac{2}{3} + 4 + \frac{1}{3} - \frac{1}{2}$ $\star P35$ 加法の交換法則 $= a + b = b + a$

④ $-2.3 \times (4 - 14)$ $\star P41$ 負の数の偶数個の+、奇数個の-をつける。

⑤ $(-8) \times (-\frac{1}{8}) - (-2) = 9$ $\star P45$ 正負の数でわることは、その数の逆数をかけることと同じである。

⑥ $-5.2 \times (12.3) - 4.8 \times (-1.3)$ $\star P48$ 分配法則 $= (a + b) \times c = a \times c + b \times c$

⑦ $5 + (4 - 3^2) \times 2$ $\star P49$ 累算の順序の順番で計算する。

《ポイント5》

答え合わせは、自分で確認をしながら1つずつ丁寧にやろう。

《ポイント6》

間違った問題に再チャレンジし、すらすらできるようにしよう。

《ポイント7》

疑問や解決できなかったことは、先生に分かるまで質問しよう。

＜学習の進め方＞

- ① 授業のポイントを、もう一度ノートにまとめ直そう。
- ② 発展問題に挑戦しよう。
- ③ 次の学習に興味をもち、予習をしよう。



〔ノートの例〕

数学 予習

① 等式の性質

① 等式の両辺に同じ数や式 m を加えても、等式は成り立つ。
 $A = B \Rightarrow A + m = B + m$

② 同じように、等式の両辺に、同じ数や式 m を引いたり、かけたり、割ったりしても、等式は成り立つ。
 $A = B \Rightarrow A - m = B - m, Am = Bm, \frac{A}{m} = \frac{B}{m}$ (点 = 点)

② 次の式 x を求めよ (例)

$x - 9 = 3$ ① ①では、左辺に数の項 -9 があるが、両辺に 9 を加えたために、
 $x - 9 + 9 = 3 + 9$ ② ②では左辺から -9 が消えている。
 $x = 3 + 9$ ③ ③では、右辺に
 $x = 12$ 数の項 $+9$ が現れている。

上の式と、説明から、文字を求めるときは、**移項**が必要に
移項 ... 等式の一方の辺にある項を、符号を変えて他方の
 辺へうつすこと。
 2段目の $x - a + a = 3 + 9$ で、等式の性質を使
 \rightarrow 両辺に $+9$ をした。
 $+9$ をしたことに伴い、 $x - a$ の -9 は打ち消され、
 $x = 3 + 9$ という式になる。このように、1次方程式は、
移項することにより、文字を求められる。

練習

(1) $2x + 1 = 9$ (2) $4x - 5 = -13$
 $2x = 9 - 1$ $4x = -13 + 5$
 $x = \frac{8}{2}$ $x = \frac{-8}{4}$
 $x = 4$ $x = -2$

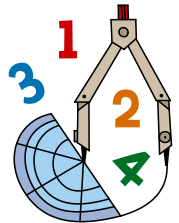
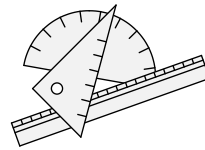
(3) $3x = -2x - 15$ (4) $2x = 5x - 8$
 $3x + 2x = -15$ $2x - 2x = 5x - 8$
 $x = \frac{-15}{5}$ $-x = -8$
 $x = -3$ $x = 8$

(5) $-3x + 2 = x + 4$
 $-3x - x = -2 + 4$
 $-4x = 2$
 $x = -\frac{1}{2}$

《ポイント》
 きょう がくしゅう が
 今日の学習のめあてを書こう。

《ポイント》
 すうがくようご かいせつ だいじ こうしき
 数学用語の解説や大事な公式などは、
 か 書いて確認できるようにしておこう。

《ポイント》
 もんたいかいけつ じぶん
 問題解決のポイントを自分なりにま
 とめておこう。



《ポイント》
 じぶん かたい つく 取り組もう。
 自分で課題を作って取り組もう。

《ポイント》
 もんたいぶん は、ず ひょう グラ
 フに表すと分かりやすくな
 ります。



トラックが高速道路のA地点を出発し、その1時間後に
 乗用車が同じA地点を出発した。トラックの速さを時速60
 km、乗用車の速さを時速100kmとするとき、乗用車がトラック
 に追いつくのに、何時間かかるか。

乗用車がトラックに追いつく時間を x 時間とする

$$60(x+1) = 100x$$

$$60x - 100x = -60$$

$$-40x = -60$$

$$x = \frac{3}{2}$$

これは問題に適している A. $\frac{3}{2}$ 時間

→ 文章題での、方程式の解き方

- ① 問題の中にある、数量の関係を調べ、表で表す。
- ② わかっている数量、わからない数量をはきかけ、方程式を作る。
- ③ 方程式を解く。
- ④ 出てきた解を代入し、あてはまれば問題の答えとする。

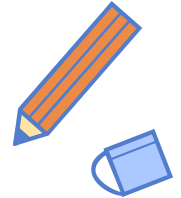
基礎編では、「重要語句」を中心に力を付けていきましょう。
発展編では、「科学的な思考力」「表現力」を育てましょう。



基礎編



- ① 教科書を参考に理科のノートを見直し、書き足りないところは書き加え、書き方の悪いところは直して、きちんと整理しよう。
- ② 観察・実験の方法を、ねらいと関連付けて理解しよう。
- ③ 教科書の太字＝重要語句をしっかりと覚えよう。
- ④ 観察・実験の器具や薬品名、注意事項なども覚えよう。
- ⑤ 「問題を解こう。」「書いて覚えよう。」「できるまで何度も繰り返して練習しよう。」「
- ⑥ 学習した内容が、生活の中で活用されているところを見つけよう。



1 まとめよう!

[ノート例]

＜北西の季節風＞
冷たく乾燥した空気

海面から水蒸気が供給

日本海側で雨の降る

太平洋側では乾燥し、晴天が続きやすい。

ユーラシア大陸 日本海 日本列島 太平洋

- 梅雨の天気… 南の暖か湿った気団と北の冷たく湿った気団の間に停滞前線が停滞し、季節風が運んだ大量の水蒸気により、日本に大量の雨が降る。
- 夏の天気… 太平洋高気圧が成長し、小笠原気団(暖かく湿った)におおわれる。南東の季節風が吹き、高温多湿で晴れが9割。
- 台風… 低緯度の熱帯地方で発生する熱帯低気圧が、暖かい海上で発達し、最大風速が19.2m/s以上となるもの。
・偏西風に流され、東寄りに進路を変える。
・熱帯低気圧に弱まったり、温帯低気圧に変わったりする。
- 海陸風… 陸と海の温度差の方向により、風向きが1日のうちで変化する風。

日中	夜
気温: 陸 > 海	気温: 陸 < 海
気圧: 陸 < 海	気圧: 陸 > 海
⇒ 海風 (海から陸へ)	⇒ 陸風 (陸から海へ)

※ 朝は朝風、夕方は夕風… 海風と陸風が入りかわり、風が止まる時間帯。

• 季節風… 大陸と海の温度差の方向により、季節に特徴的な風。

《ポイント》

大事なポイントは、図や絵、表やグラフを使って記入しよう。

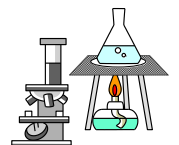


《ポイント》

重要語句をまとめよう。

《ポイント》

図などを活用し、大切な用語を分かりやすく説明しよう。



2 覚えよう! (練習問題や間違い直しが大切です!)

① 練習問題やテスト問題の間違いなどは、赤で正しくやり直しをしよう。

② 覚えるまで、そして、すらすらできるようになるまで何度も問題に取り組もう。



- ① 理科ノートをもとに説明を書き足し、オリジナルの分かりやすいノートにまとめ直そう。
- ② 教科書の大切な図なども入れて、説明を書き加えよう。
- ③ 教科書の太字=重要語句の説明を書こう。
- ④ 問題を解こう。
- ⑤ 間違えた問題については、間違えた理由やポイントを書きながら理解を深めよう。
- ⑥ 問題を解いた後、関連する内容も調べてみよう。
- ⑦ 理科の学習と日常生活とのつながりを考えよう。
- ⑧ さらに、学習内容に関連した疑問点について調べてみよう。学習内容と関連付けて考えてみよう。



1 ノートの質を高めよう!

[ノートの例]

重要語句の説明

語句に関連した説明を加えると、より詳しいものになります。

語句の説明には、図を加えると分かりやすくなります。

また、実験の結果等は、表やグラフを用いて分かったことをまとめていきます。

私たちの身のまわりには、太陽や蛍光灯、燃えているロウソクのように、自ら光を出す物体がある。太陽や蛍光灯のように、自ら光を出す物体のことを、光源という。

→月やリンゴ、教科書のように、自ら光を出さない物体もある。

光源から出た光は、四方八方に広がり、目に届く。① また、何かに反射し、目に届くこともある。物体の表面で光が反射することを、光の反射という。

② 光源より出た光は、ま、すぐに進むことが分かる。光がま、すぐに進むことを、光の直進という。

③ 鏡の面に垂直な線に入射した光がたつくる角を、入射角という。

④ 鏡の面に垂直な線と反射した光がたつくる角を、反射角という。

⑤ を見ると、入射角と反射角の大きさが等しいことが分かる。これを、光の反射の法則という。

① クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

② クレートのわしのとがたぶらふのを、カーンがべにつける。

③ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

④ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑤ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑥ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑦ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑧ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑨ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑩ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑪ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑫ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑬ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑭ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑮ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑯ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑰ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑱ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑲ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

⑳ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉑ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉒ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉓ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉔ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉕ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉖ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉗ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉘ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉙ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉚ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉛ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉜ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉝ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉞ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㉟ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊱ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊲ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊳ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊴ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊵ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊶ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊷ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊸ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊹ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊺ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊻ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊼ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊽ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊾ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

㊿ クレートをうすく入れ、水でぬらし、うすくつける。

実験のポイントを重要語句と共に確認

大切な用語

水上置換法...水にとけにくい気体を集める方法。

上方置換法...水にとけやすく、空気より密度が小さい気体を集める方法。

下方置換法...水にとけやすく、空気より密度が大きい気体を集める方法。

溶媒...溶液にとけている物質。

溶質...溶質をとかしている液体。

溶液...溶質がとけている液体全体。

水溶液...溶媒が水である溶液。

純粋物質...1種類の物質でできているもの。

混合物...いくつかの物質がまざりあっているもの。

濃度...溶液のこと。

質量パーセント濃度...溶液の濃度を、溶質の質量が溶液全体の質量の何割にあたるかで表したものの。

質量パーセント濃度(%) = $\frac{\text{溶質の質量}(g)}{\text{溶液の質量}(g)} \times 100$

2 習熟の質を高めよう! (練習問題やテストの間違い直し)

正しい解答をしっかりと理解します。

(問題)

1. 種子を採取する前、何という名前だ。たか。

A. 胚珠

2. 種子がふき出しにた、その植物を何というか。

A. 裸子植物

3. おとや失は何というか。

A. 柱頭

おとや失は何というか。たか。

胚珠

柱頭

花柄

被子

裸子

植物

間違えたところについては、詳しくまとめていきます。



- 基礎編では、教科書をしっかり音読することから始めます。音読は非常に効果があります。読めないのに書いても効果は上がりません。「読める」→「書ける」へと力を付けていきましょう。
- 発展編では、基礎編で身に付けた語句や基本文をもとに、自分でオリジナル問題を解けるようにしましょう。
 - 繰り返し音読しよう。
 - 書く練習を繰り返して、粘り強く少しずつ覚えよう。
 - 練習問題に取り組み、丁寧に答え合わせをして実力を付けよう。

音読

きょうかしよほんぶん 教科書本文をゆっくり読む。



きょうかしよほんぶん 教科書本文をすらすら読む。

語句

たんご いちぎょう か いみ いったい たんご ごく つか れいぶん か
ノートに単語を一行ずつ書く。(意味は一回でよい。) + 単語や語句を使った例文を書く。

本文

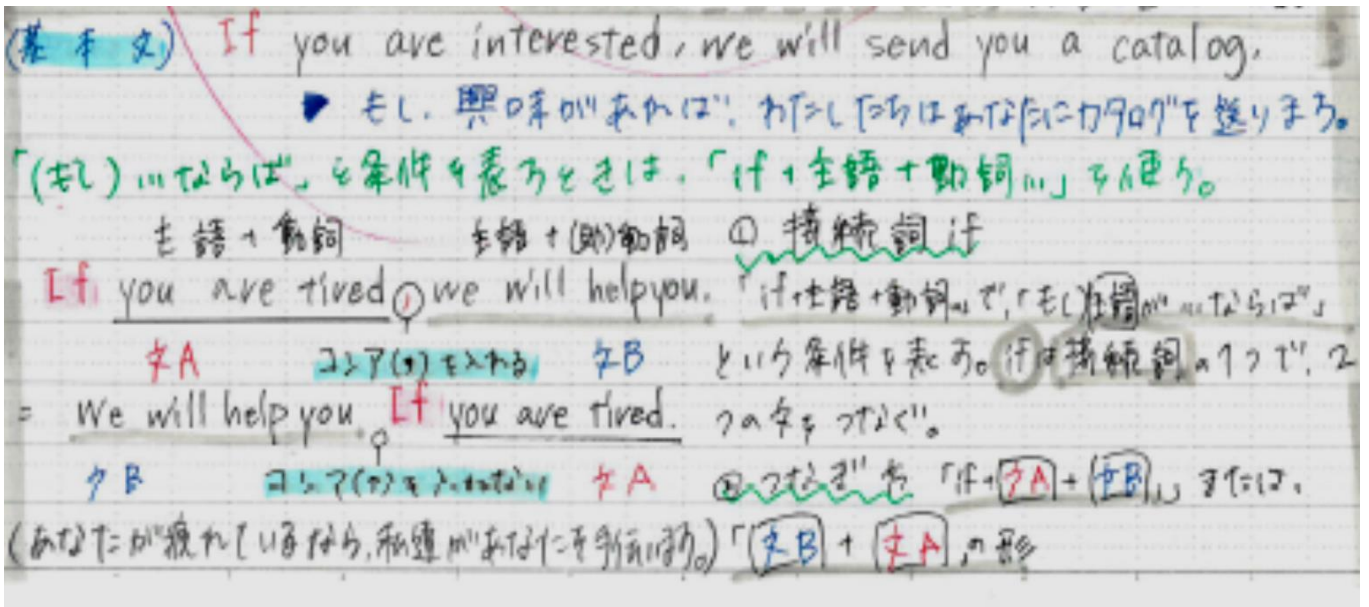
きょうかしよほんぶん か ノートに教科書の本文を書く。



きょうかしよほんぶん か ノートに教科書本文を書き…

- 英語の次に日本語を書く。
- 一文ずつ覚えて書く。
- 重要部分に線・印を付けてチェックする。

[ノート例]



スペシャル

ワーク・プリントなどの問題を解いた後で…

- 間違えた問題をもう一度解いてみる。
- 疑問に思った部分には付箋を付け、先生に分かるまで質問してみる。
- 自分のオリジナル問題を作る。(問題を作成する過程が、とてもよい勉強になります。)

はってんへん
発展編

- ① 発音やイントネーションを意識して、暗唱できるまで音読しよう。
- ② 単語や文をテスト形式でチェックしよう。
- ③ 自分だけのオリジナルノートを作ろう。

中学生編



音読

きょうかしよほんぶん あんしょう
教科書本文を暗唱する。

かんじょう こ あんしょう
感情を込めて暗唱する。

語句

たんご じこ まちが なお れんしゅう
ノートで単語の自己テストをする。(間違ったところは直して練習)



本文

にほんご さんこう えいぶん か
日本語を参考に英文を書く。

- ① 教科書本文の意味をノートに書く。
- ② ノートの日本語を参考に英文を書く。
- ③ 教科書で英文を確認する。

きょうかしよほんぶん おぼ
教科書本文を覚えて…

- ① ノートに書く。
- ② 教科書で英文を確認する。

スペシャル

じゅぎょう じぶん なお
授業のノートを自分でまとめ直す!

[ノート例]

Unit 10 part 2

咲ロバーカー先生の友人、ブラウンさんにボストンを案内してもらいます。2人はウェブサイトを見ながら行き先を調べています。
B: This is Boston Common.
We can skate there.
Can you skate?
S: Yes, I can.
B: Let's walk there. We can see some wonderful buildings on the way.
目的の場所に向かう途中、咲ロバはある銅像の前を通りかかります。
S: Who's that?
B: Can you guess?
S: No, I can't. Who is he?
B: He's Benjamin Franklin.
He's one of the Founding Fathers of America.
S: Oh, I see.

咲ロバーカー先生の友人、ブラウンさんに祝崎を案内します。2人はウェブサイトを見ながら行き先を調べています。
S: This is Tategami-ino.
We can enjoy camping near here. Do you like camping?
B: Yes, I do.
S: Let's walk there.
We can see beautiful sea on the way.
目的の場所に向かう途中、咲ロバの女性を遠くに見つけ手をふります。
B: Who's that?
S: Can you guess?
B: No, I can't. Who is she?
S: She's Ms. Shinbara.
She's one of the teacher of my school.
B: Oh, I see.

Q1: What can we enjoy in Tategami?
A1: We can enjoy camping.
Q2: Who is Ms. Shinbara?
A2: She's one of the teacher of Saki's school.

skate wonderful building(s) way guess
スケートできる 素晴らしい 建物、ビル 道 推測する
on the way one of wonderful building guess
途中で 1人の(人)

教科書本文

本文を発展させ、自分の身近な場面や状況を設定して書いた文になります。



自分で作った文に対するQ&A

- ・ 家の人や先生、友だちに出題してもらってもいいでしょう。

新出単語の練習

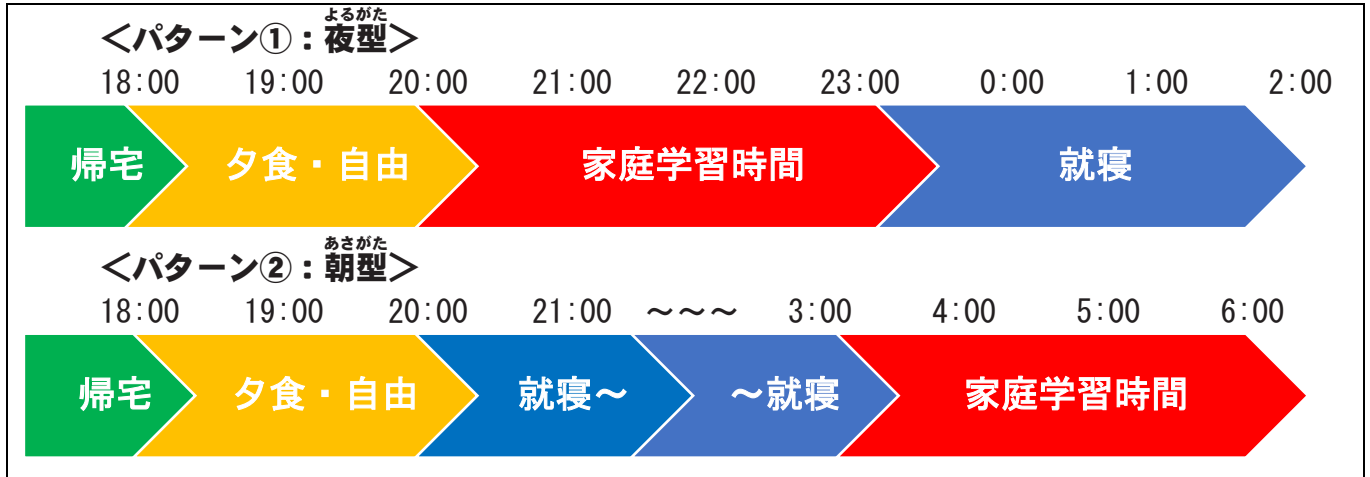
- ・ 覚えにくい単語は、複数回書いて覚えよう。

4 中学生の皆さんへ

【一日の生活スケジュール】

部活や習い事など、一日の大半を学校で過ごす中学生にとって、家に帰ってからの時間の使い方は大変重要です。

全国的な統計調査によると、中学生の宿題以外の平均家庭学習時間は、年々増加しています。自分に合った生活の仕方を工夫しましょう。



【先輩からの声】

みなさんの先輩の高校生は、毎日の授業の受け方や家庭学習、そして計画を立てて勉強することの大切さを、高校に入ってから感じています。

<やっていたよかったこと>

- ・ 自主学習ノートをやっていたよかった。
- ・ 自主学習・授業中のノート作りを毎日頑張っていたので、高校に入ってから役に立った。
- ・ 勉強時間を確保できる習慣が付いていたので、高校に入ってから無理をする必要がなくて楽だった。
- ・ 毎日4時間勉強する目標を立てていたのが役に立った。

<やっておけばよかったこと>

- ・ 毎日2時間、自主学習をする習慣を付けておけばよかった。
- ・ 先生に言われたことをしっかりとやっておけばよかった。
- ・ 黒板を写すだけでなく、先生の発言もメモする癖を身に付けておけばよかった。
- ・ 学習する時に、計画を立てながら進めていく習慣を付けておけばよかった。
- ・ 中学校で習うことは、確実に身に付けておけばよかった。

【中学生の保護者の皆様の支援について】

- 中学生は、義務教育の集大成となる大切な時期です。中学3年間で、進路の決定はもちろんのこと、子供に応じた学習スタイルの確立が必要になります。これまでのように、常に寄り添うのではなく、自立させるために、一人で頑張らせる部分と、傍にいて頑張りを認める部分をそれぞれ取り入れながら、子供の意欲を高めてあげてください。
- 将来の夢やなりたい職業について興味・関心が高まる時期です。家庭でも、将来のことや進路のことなど、子供と話し合ってみてください。保護者が自分の中学校時代を振り返り、昔の夢や目標について語ることも子供にとっては非常に貴重な時間となります。

【家庭学習の充実に向けて③】

6 枕崎市内の小・中学生の学習の様子について！（令和3年度の2回の調査結果より）

家庭での過ごし方に関するアンケート結果より

令和3年度の7月と12月に、枕崎市の全小・中学校の児童生徒を対象に行った家庭での過ごし方に関するアンケートの調査結果です。

（1）1日当たりの家庭学習時間（塾や学童での学習時間も含む）の達成率

学 年	7月達成率	12月達成率（7月との比較）
小学校1・2年（40分）	63%	75% ↑+12%◎
小学校3・4年（60分）	46%	53% ↑+7%
小学校5・6年（90分）	23%	25% ↑+2%
中学校1～3年（120分）	27%	31% ↑+4%

- 家庭学習については、小学生中学年以上で目標時間を達成している割合が低い傾向にあります。このことについては、家庭の中でどのように学習時間を確保していくのかということが重要になってきます。そのために、普段の生活時間を子供自身に振り返らせ、学習時間以外の時間の使い方についてしっかりと考えさせていきましょう。

（2）宿題だけではなく、自主学習に取り組んでいる割合

学 年	7月割合	12月割合（7月との比較）
小学校1・2年	26%	41% ↑+15%◎
小学校3・4年	23%	34% ↑+11%◎
小学校5・6年	24%	40% ↑+16%◎
中学校1～3年	46%	65% ↑+19%◎

- 自主学習に取り組んでいる割合が小学生は全体的に低いことから、家庭学習が「教師から与えられた課題」に取り組むだけのものになりやすい傾向にあることが分かります。「自学ノート」を使った学習については、この「まくらざき家庭教育手帳」などを参考にしながら、子供たちと一緒に確認をしてみてください。

（3）自分から「メディアコントロール」に取り組んでいる割合

学 年	7月割合	12月割合（7月との比較）
小学校1・2年	70%	65% ↓-5%▲
小学校3・4年	59%	57% ↓-2%▲
小学校5・6年	50%	55% ↑+5%
中学校1～3年	42%	39% ↓-3%▲

- 7月と12月の結果から、「メディアコントロール」に進んで取り組んでいる子供の割合は、学年が上がるごとに低くなる傾向にあることが分かります。家庭学習の時間や家族との団らんの時間、そして、「家読」の時間をしっかりと確保するという点からも、今後も子供たちに「メディアコントロール」の大切さについて繰り返し呼びかけていく必要があります。

※ **コロナ禍により、「メディア機器」触れる時間が長くなっていませんか？**

→ 「メディア機器」に触れる時間を、セルフコントロールできるようにしましょう。

1週間の生活リズムチェックシート

1学期



学習計画的に進められるようにしましょう!!

チャレンジ! ノーメディア・メディアコントロール

- < 札幌市全体の目標 >
- 「インターネット接続機器の使用は、夜9時まで」
- 「それぞれの家の目標」

書いてみよう②! 「1週間の生活リズムチェックシート」
 小学生は「家庭学習強調週間」、中学生は「テスト期間」に合わせて、学期に一回、家での過ごし方をエックしてみよう。一週間の生活のリズムを調べたら、家族で振り返ってみよう。

日付	チャレンジ! 家庭学習		チャレンジ! 家読		チャレンジ! ノーメディア・メディアコントロール
	学習した時間	時間(分)	目標時間: 1日()分	読んだ本	
月 日 ()	分	20 40 60 80 100	目標時間: 1日()分	読んだ本	読れた・読れなかった 読れた・読れなかった 読れた・読れなかった 読れた・読れなかった 読れた・読れなかった 読れた・読れなかった 読れた・読れなかった
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 明日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()		

< 1週間の振り返りかえって一言 >

< 家族の方から一言 >

しょうかん

せいかつ

1 週間の生活リズムチェックシート

がっさ
2 学期



ひかくてき
計画的に運められるようにしましょう!!

チャレンジ！-タイア・メディアコントロール

<松江市全体の目標>

○「インターネット接続機器の使用は、夜9時まで」

<それぞれの家の目標>

○

日付	チャレンジ！家庭学習			チャレンジ！家読			チャレンジ！ ノーマメディア コントロール
	学習した時間		時間(分)	目標時間：1日()分		読んだ本	
	学習した時間	時間(分)	学習したこと	読書時間(分)	読んだ本		
月 日 ()	分	20 40 60 80 100	■ 宿題 () ■ 朝日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()	10 20 30 40 50 60		読まれた・読れなかった	
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 朝日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()			読まれた・読れなかった	
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 朝日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()			読まれた・読れなかった	
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 朝日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()			読まれた・読れなかった	
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 朝日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()			読まれた・読れなかった	
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 朝日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()			読まれた・読れなかった	
月 日 ()	分		■ 宿題 () ■ 朝日の予習 () ■ 今日の復習 () ■ その他 ()			読まれた・読れなかった	

ひっしり
<一週間をふりかえって一言>

はなはだ
<家族の方から一言>

1週間の生活リズムチェックシート

3学期



計画的に進められるようにしましょう！！

チャレンジ！メディア・メディアコントロール

- ＜札幌市全体の目標＞
- 「インターネット接続機器の使用は、後9時まで」
- 「それぞれの家の目標」

日付	チャレンジ！家庭学習			チャレンジ！家読			チャレンジ！ ノーマメディア コントロール
	学習した時間	時間(分)	学習したこと	読書時間(分)	読んだ本	守れた・守れなかった	
	目標時間：1日()時間()分	20 40 60 80 100	■宿題() ■朝日の予習() ■今日の復習() ■その他()	10 20 30 40 50 60	読んだ本		
月 日 ()	分		■宿題() ■朝日の予習() ■今日の復習() ■その他()			守れた・守れなかった	
月 日 ()	分		■宿題() ■朝日の予習() ■今日の復習() ■その他()			守れた・守れなかった	
月 日 ()	分		■宿題() ■朝日の予習() ■今日の復習() ■その他()			守れた・守れなかった	
月 日 ()	分		■宿題() ■朝日の予習() ■今日の復習() ■その他()			守れた・守れなかった	
月 日 ()	分		■宿題() ■朝日の予習() ■今日の復習() ■その他()			守れた・守れなかった	
月 日 ()	分		■宿題() ■朝日の予習() ■今日の復習() ■その他()			守れた・守れなかった	
月 日 ()	分		■宿題() ■朝日の予習() ■今日の復習() ■その他()			守れた・守れなかった	

＜一週間をふりかえって一言＞

＜家族の方から一言＞

まくらざき
し
枕崎のことを知ろう

まくらざき
し
枕崎のことをいろいろ調べ

てみよう！



○ 「黒島流れ」を知っていますか？

かつおぶし
「鰹節は、いいやはんかなあ。まくらざき かつおぶし
枕崎の鰹節は、いいやはんかなあ。」

いま
今は、ほとんど見られなくなりましたが、めいじじだい つづ かつおぶし う こえ
明治時代から続いてきた鰹節のバラ売りの声
です。もちろん売られている かつおぶし まくらざきさん まくらざき かつおぶしせいさん にほんいち
鰹節は枕崎産。枕崎の鰹節生産は日本一ですが、そのかけ
には、これまでのまくらざき うみ じ こ なか さいだい ひげき い くるしまなが ものがたり
枕崎における海の事故の中で最大の悲劇と言われる「黒島流れ」の物語
があります。

めいじ ねん がつ にち たいふう さ あと くるしま ひとひと かいがん かずかず したい
明治28年7月24日、台風が去った後の黒島の人々は、海岸をうめつくす数々の死体に
「これはたいへん たいへん おおそどう
大変なことになった。」と大騒動になりました。向こうの岩場にはこわれた船が打
あ そうなん ひとひと すがた ちい み
ち上げられ、遭難した人々の姿が小さく見えます。

「さあ、いそ たす い
さあ、急いで助けに行こう。」

くるしま わかもの なわ も だんがいぜつべき いわば お お
黒島の若者たちは、ひもや縄などを持って断崖絶壁の岩場に降りていきました。降りるだ
けでもたいへん がけ おお ひと いま し ひと せ お のぼ いえ
でも大変な崖を、大けがをした人や今にも死にそうな人を背負って登り、ようやく家まで
つ かくえ
連れて帰りました。そして、みんなで きょうりょく あ てあて しょくじ せわ
協力し合って、けがの手当や食事の世話をしたので
す。とうじ まくらざき かつおせん やくはんすう そうなん ししや まくらざき
当時、枕崎にいた鰹船60せきのうち約半数が遭難し、死者は枕崎だけでも411
にん のぼ だいさんじ
人に上る大惨事でした。

とうじ さい ひだか しま もよう つぎ はな
当時、6歳だった日高キクさんは、島での模様を次のように話されています。

「その時は、まくらざき ひと な からだ まつ き ひ たす ひと
枕崎の人たちがたくさん亡くなった。体が松の木に引っかかって助かった人
もいたという。くるしま ひと たいへんしんぱい くるう たす ひと も
黒島の人たちは大変心配し、苦勞もした。助かった人に、おかゆを持って
いったことを覚えている。わたし いえ ひなん やど まくらざき ひと にん
私の家に避難して宿にした枕崎の人は、10人くらいだった。」

みな
皆さんにからいもを煮て食べさせた。」

ころくろしま
その頃黒島では、「ご用心米」と言って船の遭難や重病人が出た時などいざという時の
ひじょうしょく こめ たくわ しゅうかん
ために、非常食として米を蓄えておく習慣がありました。でも、黒島は山地が中心で、
こめ すこ ふだん あわ た くろしま みな
米は少ししかとれないため、普段はからいもや粟などを食べていました。黒島の皆さんは、
ひと だいじ こめ だ あ まくらざき たす く せわ
けがをした人たちのために、その大事な米を出し合っ、枕崎から助けが来るまで世話を
つづ かげ たす にんあま げんき まくらざき かえ
続けました。そのお陰で助かった30人余りは、すっかり元気になり、枕崎に帰ることが
できたのでした。

かいなんじ こ くろしまなが まくらざき ひとひと こころ かんしゃ おん むく
この海難事故が「黒島流れ」です。枕崎の人々は心から感謝しました。その恩に報いる
くろしま かたがた まくらざき こ やど ていきょう せったい こうりゅう ふか
ために、黒島の方々が枕崎に来られると宿を提供したり、接待したりして交流を深めた
い
と言われていす。また、この時、父や夫を亡くし、生活を支える収入を無くした女性
おお じよせい かな ぞこ た あ はじ いえいえ たず
も多くいました。その女性たちが、悲しみのどん底から立ち上がるために始めた、家々を訪
かつおぶし う ある かた かつおぶし ぎょうしょう い まくらざき かつおぶし なまえ かごしまけんない
ねて鰹節を売り歩くやり方は「鰹節の行商」と言われ、枕崎の鰹節の名前を鹿児島県内
とお みやざき くもと ひろ
をはじめ、遠く宮崎や熊本までも広めたのです。

いま まいとしけいかく しょうねん せん くろしま こうりゅう じせだい かた
今、毎年計画されている「少年の船」での黒島との交流には、このことを次世代に語り
つ しょうねん かたがた たましい なぐさ くろしま かたがた かんしゃ わす
継ぎ、遭難された方々の魂を慰めるとともに、黒島の方々への感謝を忘れないようにし
ようという願いが込められています。



まくらざきえきまえ おやこぎょうしょう ぞう
枕崎駅前にある親子行商の像

まくらざき れきし でんとう し たいけんじぎょう さんか
枕崎の歴史や伝統を知る体験事業に参加しよう！

しょうねん ふね
①「少年の船」

れいわ ねん がつ にち にち しょうがくせいじょうたいしょう
令和4年5月15日（日）【小学生以上対象】

つ たいけん
②「かつお釣り体験アドベンチャー」

れいわ ねん がつ にち か [ちゅうがくせいじょうたいしょう]
令和4年7月26日（火）【中学生対象】

令和4年度 生涯学習課関係の行事について

1 PTA関係行事

(1) 市P連関係行事（市P連事務局：別府小学校）

月	日	曜日	行事名	場所
4	21	木	市P連運営委員会	枕崎市市民会館
5	13	金	市P連評議員会（中止）※書面にて	枕崎市市民会館
12	10	土	市P連研究委嘱公開（立神中）	立神中学校

(2) 地区P連関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
5	19	木	地区P連理事会	南さつま市民会館
5	24	火	地区P連総会（午後）	〃
6	29	水	地区P役員研修会	枕崎市市民会館
10	18	火	地区P会員等教育講演会	南さつま市いにしえホール

(3) 県P連関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
6	4	土	県P連定期総会	ウェルビューかごしま
11	15	火	県P連評議員研修会	〃
2	4	土	県P研究委嘱公開	指宿市民会館

(4) 県民大学講座・人権問題啓発研修会 → 各小・中学校の家庭教育学級に関する行事

月	日	曜日	行事名	場所
8	29	月	人権問題啓発研修会	枕崎市市民会館大ホール
9	13	火	県民大学講座（子育て講座）13:00～14:30	〃

2 中生連関係行事（中生連事務局：枕崎中学校）

月	日	曜日	行事名	場所
5	20	金	第1回常任委員会・顧問会	枕崎中学校
5	25	水	弁論大会運営委員会（国語部）	枕崎市市民会館1階和室
7	1	金	中学生弁論大会	枕崎市市民会館大ホール
10	21	金	第2回常任委員会・顧問会	枕崎中学校
1	20	金	第3回常任委員会・顧問会	〃

3 ジュニア・リーダーと子ども会関係行事

(1) 市関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
4	14	木	第1回市子連理事会	枕崎市市民会館
5	6	金	市子連総会（中止）※書面にて	〃
7	7	木	第2回市子連理事会	〃
11	15	火	第3回市子連理事会	〃
11	19	土	市子ども会大会	別府小学校

1	3	火	市「二十歳のつどい」(仮称)	枕崎市市民会館
2	22	水	第4回市子連理事会	〃
3	4	土	子ども会新育成会長・インリーダー研修会	〃
3	12	日	市生涯学習フェスティバル	〃

(2) 地区関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
5	17	火	第1回地区子連運営委員会・総会	指宿市ふれあいプラザなのはな館
9	4	日	地区子ども会大会/育成者・指導者研修会	知覧文化会館
11	27	日	地区ジュニア・リーダー研修会	南さつま市民会館
12	3	土	地区子ども会安全教育研修会・創作活動大会	指宿市開聞総合体育館
1	6	金	第2回地区子連運営委員会	サンフレッシュ枕崎

(3) 県・九州地区関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
6	3	金	県子連総会/指導者・育成者大会	県青少年会館
6	12	日	第1回県ジュニア・リーダー研修会	県民交流センター
7	3	日	県子ども会安全啓発初級指導者養成研修会	〃
8	11	木	九州地区子ども会/ジュニア・リーダー大会(熊本大会)	葦北郡:8/13(土)まで
8	24	水	県合同ジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会	青少年研修センター:8/25(木)まで
1	22	日	第2回県ジュニア・リーダー研修会	県民交流センター

4 市民あいさつ運動

回	月	日	曜日	A	B	回	月	日	曜日	A	B
1	4	15	金	枕小	桜小	7	10	14	金	立小	別小
2	5	20	金	桜中	枕中	8	11	18	金	別中	立中
3	6	17	金	別小	立小	9	12	16	金	枕小	桜小
4	7	15	金	立中	別中	10	1	20	金	桜中	枕中
5	8	19	金	桜小	枕小	11	2	17	金	別小	立小
6	9	16	金	枕中	桜中	12	3	17	金	立中	別中

5 青少年育成関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
7	26	火	かつお釣り体験アドベンチャー本研修	枕崎港
7	30	土	少年野球大会(1日目)	枕崎市営野球場・塩浜運動場 他
7	31	日	少年野球大会(2日目)	〃

6 青少年交流関係行事

月	日	曜日	行事名	場所
5	15	日	少年の船(中止)	枕崎港⇄三島村(黒島)
8	5	金	青少年稚内交流派遣事業	枕崎市⇄稚内市:8/8(月)まで

親として知っておきたいこと

◎ 「週休2日」～部活動や少年団～！！

中学校の部活動は、「平日週1日及び土日のうち1日、合わせて週2日以上の休養日を設定する」、活動時間は、「長くとも平日では2時間程度、学校の休業日（学期中の週末を含む）は3時間程度とする」が原則です。

適度な休養による心身のリフレッシュは、技能や競技力の向上に不可欠です。部活動は中学校生活の中でも大きなウエイトを占めるものですが、怪我やオーバーワークによる慢性的な疲労によって、つらいだけの思い出にならないようにしたいものです。

また、小学校の少年団活動については、子供たちの発達段階を考慮し、鹿児島県体育協会が「週3回以内、1日2時間以内の活動が原則」と定めています。



◎ 「ヘルメット着用」と「保険加入」は義務！！

「かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例」（平成29年施行）では、下記のように定められています。

項	内 容
交通安全教育・啓発	○保護者や学校は、自転車利用に関する技能と知識の習得をさせる。
自転車の適正利用	○車両であることを自覚し、点検整備や盗難防止、防犯登録を行う。
乗車用ヘルメットの着用	○保護者は、中学生以下の子にヘルメットを着用させる義務がある。
自転車損害賠償保険等への加入	○自転車利用者は、保険に加入する義務がある。 (実質保護者の義務になります。)



◎ 枕崎市校外生活指導連絡会より重要なお知らせ！！

「インターネット環境機器の使用は午後9時までとする。」

枕崎市校外生活指導連絡会では、子供たちを取り巻くネット環境から子供を守るために、共通理解事項として「インターネット環境機器の使用は午後9時までとする」と決めています。

「メディアコントロール」と「ノーメディア」に市内一斉、全ての小学生・中学生が取り組んでいきましょう。

※ メディア機器の使い方をセルフコントロールできるようにすることが大切です。

